

## Personality Migration リファレンス

# Novell. ZENworks® 10 Personality Migration

**10.3**

2010年3月30日

[www.novell.com](http://www.novell.com)



## 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.  
404 Wyman Street, Suite 500  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.  
[www.novell.com](http://www.novell.com)

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

## **Novell の商標**

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

## **サードパーティ資料**

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

このガイドについて	7
<b>1 Novell ZENworks Personality Migration の概要</b>	<b>9</b>
1.1 ユーザアカウントのマイグレート	10
1.2 システム設定のマイグレート	10
1.3 アプリケーションのマイグレート	10
1.4 ファイルおよびフォルダのマイグレート	11
<b>2 ZENworks Personality Migration のインストール</b>	<b>13</b>
2.1 システム要件	13
2.2 Windows への ZENworks Personality Migration のインストール	13
2.3 ZENworks バンドルを使用した ZENworks Personality Migration のインストール	14
2.4 ZENworks Personality Migration Core のインストール	14
2.5 インストールオプション	15
<b>3 Personality Migration のアンインストール</b>	<b>17</b>
3.1 ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルを使用した Personality Migration のアンインストール	17
3.2 コマンドラインユーティリティを使用した Personality Migration のアンインストール	17
3.3 Windows の [プログラムの追加と削除] を使用した Personality Migration のアンインストール	18
<b>4 パーソナリティ設定の手動によるマイグレート</b>	<b>19</b>
4.1 ユーザのパーソナリティ設定とデータの保存	19
4.1.1 直接モードを使用したデータの転送	24
4.1.2 ファイルモードを使用したデータの転送	25
4.2 ユーザのパーソナリティ設定とデータの適用	26
<b>5 パーソナリティ設定の自動的なマイグレート</b>	<b>31</b>
5.1 パーソナリティテンプレートの作成	31
5.1.1 テンプレートビルダの起動	32
5.1.2 テンプレートビルダを使用したテンプレートの作成	32
5.2 既存のテンプレートの変更	45
5.3 パーソナリティ設定の自動マイグレート	45
5.4 コマンドプロンプトを使用してパーソナリティ設定をマイグレートする	46
5.5 パーソナリティの保存および適用のコマンドプロンプトオプション	47
<b>A ベストプラクティス</b>	<b>49</b>
A.1 パーソナリティの保存と適用	49
A.2 コンピュータ名の長さの設定	49

<b>B</b>	<b>Personality Migration のトラブルシューティング</b>	<b>51</b>
<b>C</b>	<b>マイグレーションの設定</b>	<b>53</b>
<b>D</b>	<b>Personality Migration でサポートされている設定</b>	<b>55</b>
D.1	システム設定 . . . . .	55
D.2	アプリケーション設定 . . . . .	56
D.2.1	Adobe アプリケーション . . . . .	56
D.2.2	Corel アプリケーション . . . . .	57
D.2.3	IBM アプリケーション . . . . .	57
D.2.4	Microsoft アプリケーション . . . . .	57
D.2.5	Palm アプリケーション . . . . .	59
D.2.6	Qualcomm アプリケーション . . . . .	59
D.2.7	モーションアプリケーションの調査 . . . . .	59
D.2.8	Sun アプリケーション . . . . .	60
D.2.9	アメリカオンラインアプリケーション . . . . .	60
D.2.10	GAIM アプリケーション . . . . .	60
D.2.11	Mozilla Foundation アプリケーション . . . . .	61
D.2.12	OpenOffice.org アプリケーション . . . . .	63
<b>E</b>	<b>変数の理解</b>	<b>65</b>
<b>F</b>	<b>クロスユーザマイグレーションのシナリオ</b>	<b>69</b>
F.1	PNP ファイルがすべてのユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ . . . . .	69
F.2	PNP ファイルが現在ログインしているユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ . . . . .	70
F.3	PNP ファイルが特定ユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ . . . . .	73
F.4	PNP ファイルが複数の特定ユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ . . . . .	74
<b>G</b>	<b>マニュアルの更新</b>	<b>77</b>
G.1	2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3) . . . . .	77

# このガイドについて

この『Novell ZENworks Configuration Personality Migration リファレンス』では、Novell® ZENworks® Personality Migration のインストール方法および使用方法の概要を説明しています。

このガイドは、次の章で構成されています。

- ◆ 9 ページの第 1 章「Novell ZENworks Personality Migration の概要」
- ◆ 13 ページの第 2 章「ZENworks Personality Migration のインストール」
- ◆ 19 ページの第 4 章「パーソナリティ設定の手動によるマイグレート」
- ◆ 31 ページの第 5 章「パーソナリティ設定の自動的なマイグレート」
- ◆ 49 ページの付録 A「ベストプラクティス」
- ◆ 51 ページの付録 B「Personality Migration のトラブルシューティング」
- ◆ 53 ページの付録 C「マイグレーションの設定」
- ◆ 55 ページの付録 D「Personality Migration でサポートされている設定」
- ◆ 69 ページの付録 F「クロスユーザマイグレーションのシナリオ」
- ◆ 77 ページの付録 G「マニュアルの更新」

## 対象読者

このガイドは、ネットワークリソースを管理するネットワーク管理者や IT 技術者、および新しいハードウェアの使用を開始する際に、ZENworks Personality Migration を使用してネットワークワークステーションのアプリケーションや環境設定を保持したいユーザを対象としています。

## フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) (<http://www.novell.com/documentation/feedback.html>) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

## 追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品に関する情報や製品の実装方法について参照できる他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式) が用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management SP3 のドキュメント](http://www.novell.com/documentation/zcm10/) (<http://www.novell.com/documentation/zcm10/>) を参照してください。

## マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (\*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (/) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux\* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。



# Novell ZENworks Personality Migration の概要

# 1

Novell® ZENworks® Personality Migration は、Novell ZENworks Configuration Management 製品ラインの一部です。

パーソナリティとは、ユーザがデバイスで一般的に使用するアプリケーションおよびシステム設定のコレクションです。標準の設定には、デスクトップの壁紙、電子メールのアカウントの設定、ブラウザのプロキシ設定、ファイルとフォルダ、アーカイブされた電子メール、Microsoft Office のテンプレート、Microsoft Office のマクロなどがあります。

ZENworks Personality Migration を使用すると、スタンドアロンデバイス上、または集中的に管理されているコンソールから、このプロセスを自動化することができます。このプロセスにより、ユーザがデスクトップを設定または再設定する際に必要な時間を大幅に短縮し、作業を軽減することができます。新しいデスクトップやアプリケーションをプロビジョニングする際に、これは特に便利です。

ZENworks Personality Migration を使用すると、Windows\* ユーザのパーソナリティを保存したり、別の Windows ユーザにパーソナリティをマイグレートしたりすることができます。エンタープライズ規模のマイグレーションでは、ZENworks Configuration Management を使用してディレクティブバンドルを配布し、パーソナリティ設定を保存してユーザに適用することができます。

Personality Migration ユーティリティは、ZENworks Configuration Management とともに提供されています。ユーティリティのインストールの詳細については、[13 ページの第 2 章「ZENworks Personality Migration のインストール」](#)を参照してください。

ユーティリティを使用すると、次の操作を行うことができます。

- ◆ 圧縮され、パスワードで保護されたパーソナリティファイルに、1 つの Windows デバイス上の 1 人以上のユーザのパーソナリティを保存する。
- ◆ パーソナリティファイルのパーソナリティ設定を Windows デスクトップに適用する。
- ◆ 2 つのデバイスが相互接続されている場合、中間ファイルを使用せずに、1 つの Windows デバイス上の 1 人以上のユーザのデスクトップから、別の Windows デバイス上のユーザにパーソナリティデータを直接マイグレートします。

次のセクションを参照してください。

- ◆ [10 ページのセクション 1.1 「ユーザアカウントのマイグレート」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.2 「システム設定のマイグレート」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.3 「アプリケーションのマイグレート」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.4 「ファイルおよびフォルダのマイグレート」](#)

## 1.1 ユーザアカウントのマイグレート

ZENworks Personality Migration を使用すると、デバイスにログオンしているユーザや、複数のユーザのユーザプロフィールをマイグレートすることができます。パーソナリティをマイグレートするローカルユーザまたはドメインユーザを選択できます。また、ユーザをマップして、パーソナリティを適用することもできます。これらのパーソナリティは、単一のユーザまたは複数のユーザに適用することができます。

## 1.2 システム設定のマイグレート

マイグレートできるシステム設定には、次のようなものがあります。

- ◆ アクセシビリティ
- ◆ 表示スタイル
- ◆ 日付と地域の設定
- ◆ キーボード、マウスおよびその他のハードウェア
- ◆ ネットワークの設定
- ◆ サウンドおよびマルチメディア

設定の詳細なリストについては、55 ページの付録 D 「[Personality Migration](#) でサポートされている設定」を参照してください。

---

**重要:** ネットワークの設定はファイルモードでのみマイグレートできます。詳細については、51 ページの付録 B 「[Personality Migration のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

---

## 1.3 アプリケーションのマイグレート

次の会社のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ Adobe\*
- ◆ アメリカオンライン \*\*
- ◆ Corel\*
- ◆ GAIM
- ◆ IBM\*
- ◆ Macromedia\*
- ◆ Microsoft\*
- ◆ Mozilla\*
- ◆ OpenOffice.org\*
- ◆ Palm\*
- ◆ Qualcomm\*
- ◆ Research in Motion\*
- ◆ Sun\*

アプリケーション、バージョン、および設定の詳細なリストについては、55 ページの付録 D「Personality Migration でサポートされている設定」を参照してください。

## 1.4 ファイルおよびフォルダのマイグレート

ファイル、ファイルタイプ、またはフォルダのマイグレートを選択できます。また、これらのファイルおよびフォルダを保存する宛先デバイス上の場所を選択することもできます。



# ZENworks Personality Migration のインストール

# 2

Novell® ZENworks® Configuration Management Personality Migration は、Windows ワークステーションで実行できます。ZENworks Personality Migration を使用すると、ある Windows デバイスから別の Windows デバイスにパーソナリティをマイグレートすることができます。

- ◆ 13 ページのセクション 2.1 「システム要件」
- ◆ 13 ページのセクション 2.2 「Windows への ZENworks Personality Migration のインストール」
- ◆ 14 ページのセクション 2.3 「ZENworks バンドルを使用した ZENworks Personality Migration のインストール」
- ◆ 14 ページのセクション 2.4 「ZENworks Personality Migration Core のインストール」
- ◆ 15 ページのセクション 2.5 「インストールオプション」

## 2.1 システム要件

ZENworks Personality Migration は、Microsoft Windows の次のプラットフォームでサポートされています。

- ◆ Windows 2000 Professional SP4 (32 ビットの実行システムバージョンのみ)
- ◆ Windows Vista\* (32 ビットおよび 64 ビットの実行システムバージョン)
- ◆ Vista SP1 (32 ビットおよび 64 ビットの実行システムバージョン)
- ◆ Windows XP Professional SP2 (32 ビットの実行システムバージョンのみ)
- ◆ Windows XP Professional SP3 (32 ビットの実行システムバージョンのみ)
- ◆ Windows 7 (Professional、Ultimate、Enterprise エディションの 32 ビットおよび 64 ビット実行システムバージョンの両方)

パーソナリティをデバイスに正常に保存するには、保存するパーソナリティのサイズの少なくとも倍以上の空きディスク容量がデバイスにある必要があります。

たとえば、1 GB のパーソナリティを正常に保存するには、パーソナリティを保存するデバイスには、少なくとも 2\*1 GB 以上の空きディスク容量が必要です。

## 2.2 Windows への ZENworks Personality Migration のインストール

- 1 Web ブラウザで、次の URL に移動します。  
[http://zenworks\\_primary\\_server\\_id/zenworks-setup/?pageId=tools](http://zenworks_primary_server_id/zenworks-setup/?pageId=tools).

- 2 ZENworksPersonalityMigration.exe を一時的に適切な場所にダウンロードします。
- 3 ZENworksPersonalityMigration.exe を実行し、画面上の指示に従って、ワークステーションにインストールします。

## 2.3 ZENworks バンドルを使用した ZENworks Personality Migration のインストール

- 1 Web ブラウザで、次の URL に移動します。  
`http://zenworks_primary_server_id/zenworks-setup/?pageId=tools.`
- 2 ZENworksPersonalityMigration.exe を一時的に適切な場所にダウンロードします。
- 3 ZENworks サーバにある ZenworksPersonalityMigration.exe を使用して、[ファイルのインストール] アクションでディレクトティブンドルを作成します。管理対象デバイス上で、このファイルをインストールする宛先フォルダを指定します。  
たとえば、C:\Install という宛先フォルダを指定できます。
- 4 作成したバンドルのインストールセットで、[実行可能ファイルの起動] アクションを追加します。[全般] タブで、ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルが管理対象デバイス上に存在するパスを [コマンド] オプションで指定します。  
たとえば、ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルが管理対象デバイス上の C:\Install にある場合、パスは C:\Install\ZENworksPersonalityMigration.exe になります。
- 5 [コマンドラインパラメータ] で「/quiet」と入力して、ユーザ操作なしで Personality Migration をインストールします。
- 6 [詳細] タブをクリックして、次の操作を行います。
  - 6a [実行プログラムのセキュリティレベル] を [安全なシステムユーザとして実行] に設定します。
  - 6b [次のアクションに進む前に待機します] を [アクションの完了時] に設定します。
- 7 管理対象デバイスにこのバンドルを割り当てます。

## 2.4 ZENworks Personality Migration Core のインストール

パーソナリティは、グラフィカルユーザインタフェースまたはコマンドラインのどちらを使用してもマイグレートできます。コマンドラインオプションを使用するには、ZENworks Personality Migration Core が必要です。ZENworks Personality Migration をインストールするときに、[グラフィカルユーザインタフェース] オプションおよび [コア] オプションが自動的にインストールされます。または、[コア] オプションのみをインストールすることもできます。

ZENworks Personality Migration Core は、ZenworksPersonalityMigration.exe /coreonly コマンドを使用して個別にインストールできます。詳細については、[15 ページのセクション 2.5 「インストールオプション」](#) を参照してください。

## 2.5 インストールオプション

次の表は、ZenworksPersonalityMigration.exe コマンドに使用できるオプションについて説明したものです。

表 2-1 インストールオプション

オプション	説明
/?	ヘルプおよび使用可能なオプションが表示されます
/passive	インストールの進行状況が表示されます。ユーザの介入は必要ありません。
/quiet	グラフィカルユーザインタフェースが表示されずに、Personality Migration がインストールされます。
/uninstall	ZENworks Personality Migration がアンインストールされます。
/coreonly	Zenworks Personality migration をグラフィカルユーザインタフェースを使用せずにインストールします。
/修復	インストールされた ZENworks Personality Migration のバージョンを修復します。

**重要:** 一覧表示されているオプションでは、大文字小文字が区別されます。





# Personality Migration のアンインストール

# 3

Personality Migration は、次のどの方法でもアンインストールできます。

- ◆ 17 ページのセクション 3.1 「ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルを使用した Personality Migration のアンインストール」
- ◆ 17 ページのセクション 3.2 「コマンドラインユーティリティを使用した Personality Migration のアンインストール」
- ◆ 18 ページのセクション 3.3 「Windows の [プログラムの追加と削除] を使用した Personality Migration のアンインストール」

---

**重要 :** Personality Migration のアンインストールの前に、Personality Migration のアプリケーションと Personality Migration のテンプレートビルダを確実に閉じてください。

---

## 3.1 ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルを使用した Personality Migration のアンインストール

- 1 ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルがある場所に移動し、ファイルをダブルクリックします。
- 2 [Welcome to ZENworks Personality Migration Setup(ZENworks Personality Migration セットアップへようこそ)] ページで、[次へ] をクリックします。
- 3 [削除] を選択後、[次へ] をクリックします。

## 3.2 コマンドラインユーティリティを使用した Personality Migration のアンインストール

- 1 Windows コマンドプロンプトで、ZENworksPersonalityMigration.exe ファイルがある場所に移動します。
- 2 ZENworksPersonalityMigration.exe /uninstall コマンドを実行します。  
または  
サイレントアンインストールを行うには、次のコマンドを実行します。  
ZENworksPersonalityMigration.exe /uninstall /quiet

### 3.3 Windows の [プログラムの追加と削除] を使用した Personality Migration のアンインストール

- 1 デスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [プログラムの追加と削除] の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除] ウィンドウで、[ZENworks Personality Migration] を選択後、[削除] をクリックします。

# パーソナリティ設定の手動によるマイグレート

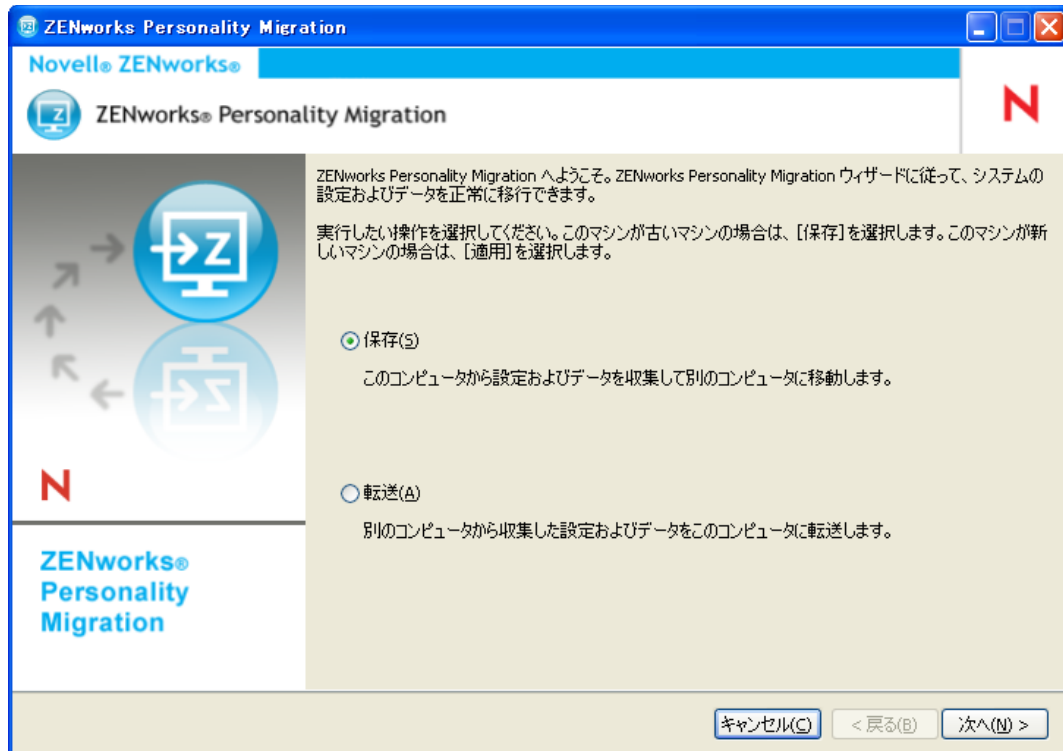
ZENworks® Personality Migration を使用すると、ユーザのパーソナリティを保存し、ある Windows デバイスから別の Windows デバイスにパーソナリティをマイグレートすることができます。

パーソナリティ設定を手動でマイグレートするには、一覧表示された順序で、次のタスクを実行します。

- 19 ページのセクション 4.1 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの保存」
- 26 ページのセクション 4.2 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの適用」

## 4.1 ユーザのパーソナリティ設定とデータの保存

- 1 マイグレーションプロセスを開始する前に、次の操作を行ってください。
  - ❑ ZENworks Personality Migration がソースデバイスにインストールされていることを確認してください。詳細については、13 ページのセクション 2.2 「Windows への ZENworks Personality Migration のインストール」を参照してください。
  - ❑ 設定をマイグレートするアプリケーションを終了します。(また、ZENworks Personality Migration を起動するときに、開いているすべてのアプリケーションを終了するよう要求されます)。
  - ❑ 中間ファイルを使用せずに、相互接続されたデバイス間でシステム設定およびユーザ設定をマイグレートする場合、アプリケーションが互いに対話できるようにするために、Windows ファイアウォールが Personality Migration ソフトウェアを例外として扱うことができるようにしておく必要があります。詳細については、25 ページの「Windows ファイアウォールを使用して、ZENworks Personality Migration を有効にする」を参照してください。
  - ❑ デバイス上の複数のユーザアカウントのパーソナリティをマイグレートする場合、管理者特権を持つユーザとしてログインします。
- 2 次の方法の 1 つを使用して、ZENworks Personality Migration を起動します。
  - デスクトップにある ZENworks Personality Migration ショートカットアイコンをダブルクリックします。
  - [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Personality Migration] の順にクリックします。

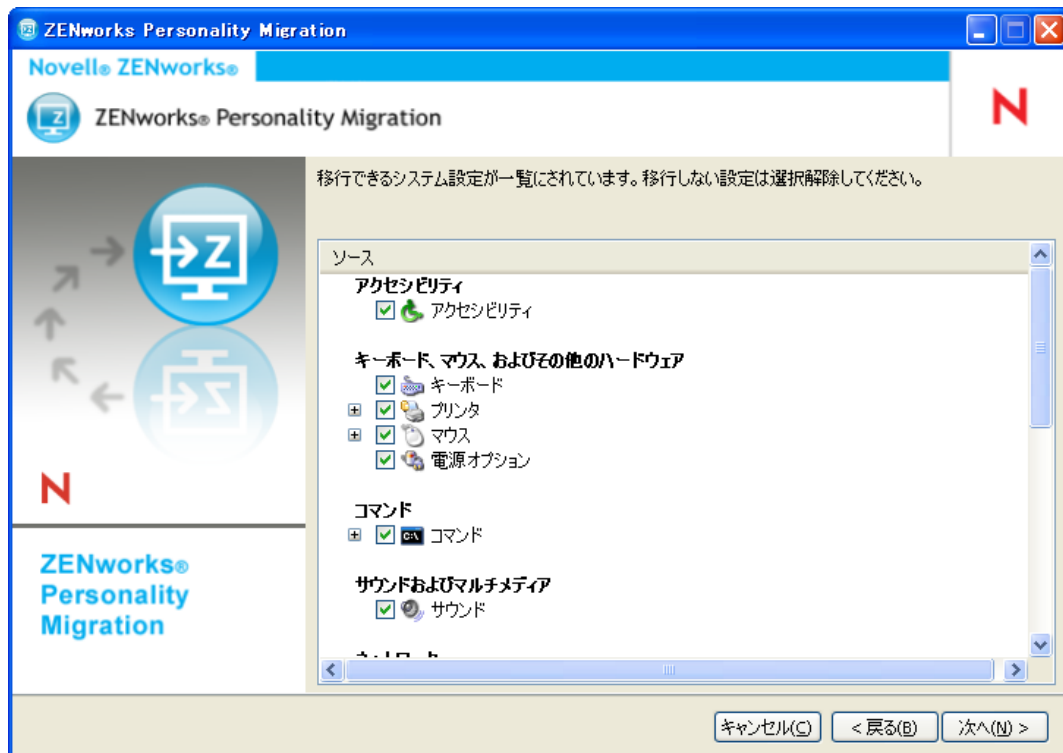


- 3 ユーザのアカウント情報、システム設定、ソースシステムのアプリケーションの設定およびデータを PNP (Platform Neutral Package) ファイルに保存するには、[保存] をクリックします。
- 4 ユーザ情報および設定をマイグレートできるインストール済みのアプリケーションをソースシステムで検索するには、[次へ] をクリックします。これには、数分かかる場合があります。

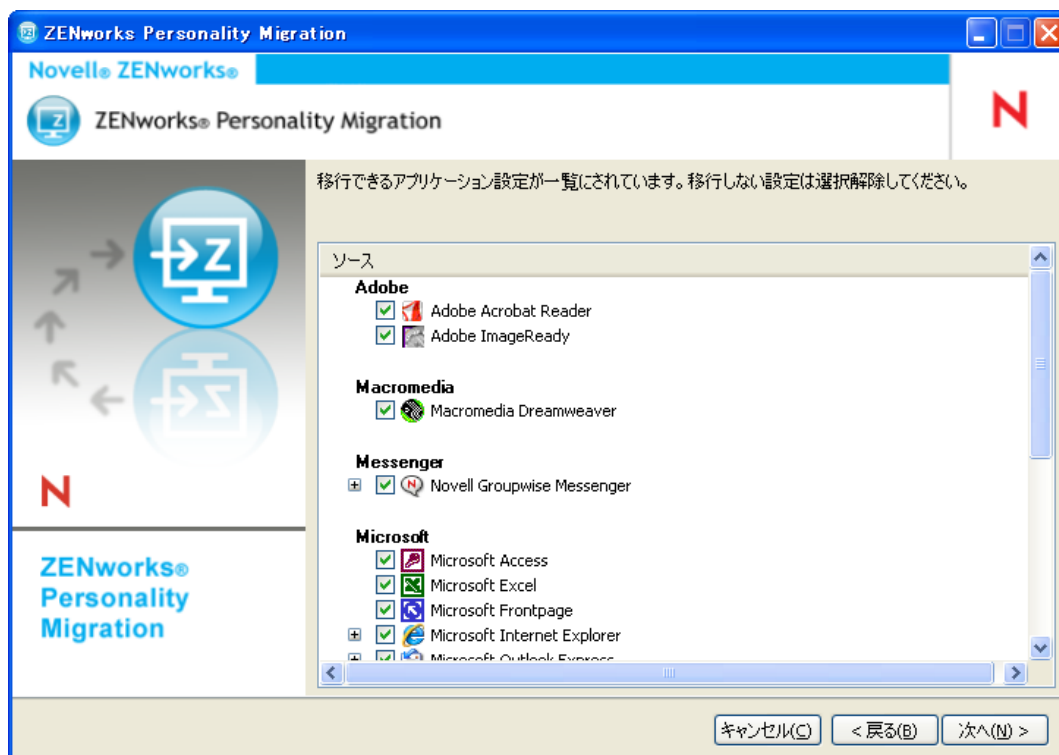


デフォルトでは、一覧にされたすべてのユーザアカウントが選択されます。

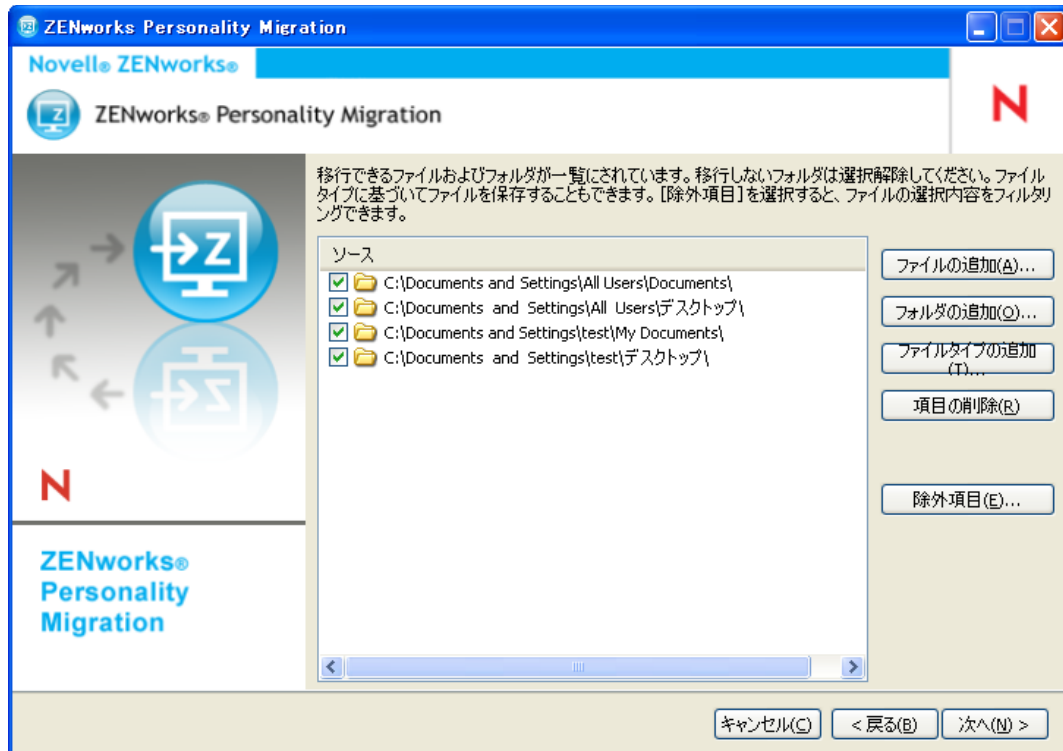
- 5 設定をマイグレートしないユーザアカウントを選択解除します。
- 6 マイグレートしないシステム設定を選択解除するには、[次へ] をクリックします。



- 7 マイグレートしないアプリケーションの設定を選択解除するには、[次へ] をクリックします。



- 8 マイグレートしないファイルおよびフォルダを選択解除するには、[次へ] をクリックします。



また、このページを使用すると、ファイル、フォルダまたは特定の種類のファイルを、マイグレーションファイルのリストに追加することもできます。

- 9 (オプション) マイグレートするファイルを追加するには、[ファイルの追加] をクリックします。追加したファイルは [ソース] カラムに表示されます。
- 10 (オプション) [フォルダの追加] をクリックして移行するフォルダを追加します。追加したフォルダは [ソース] カラムに表示されます。
- 11 (オプション) [ファイルタイプの追加] をクリックして移行するファイルのタイプを指定します。
- 12 (オプション) [項目の削除] をクリックして、移行する項目のリストから、強調表示された項目を削除します。
- 13 (オプション) [項目の除外] をクリックして、移行しないファイルおよびフォルダを除外します。
- 14 [次へ] をクリックしてから、設定とデータを転送するモードを選択します。直接モードまたはファイルモードでデータを転送できます。
  - ◆ **直接**：同じサブネット内において、設定およびデータをシステム間でリアルタイムにマイグレートします。

---

**重要**：直接モードでは、ネットワークの設定をマイグレートしないでください。詳細については、51 ページの付録 B 「Personality Migration のトラブルシューティング」を参照してください。または、ネットワークの設定はファイルモードでマイグレートできます。

---

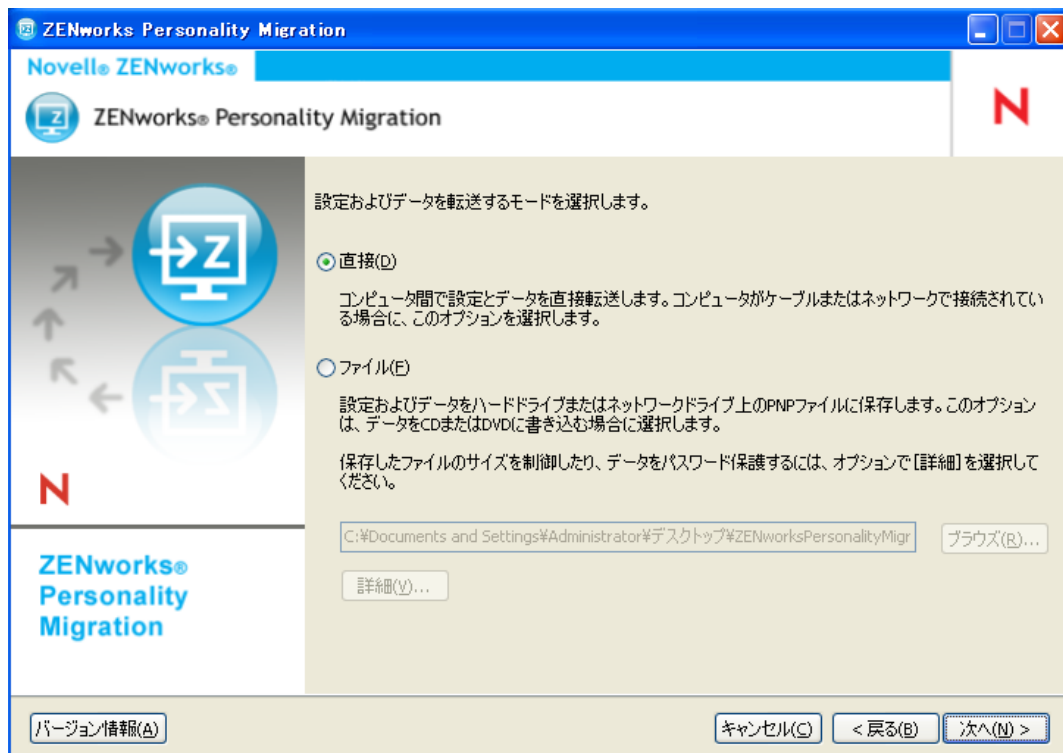
24 ページのセクション 4.1.1 「直接モードを使用したデータの転送」に進みます。

- ◆ **ファイル**: 移行する設定とデータを PNP ファイルに保存します。ファイル名を指定するか、[参照] をクリックして、設定とデータを保存するファイルをブラウザして選択します。

25 ページのセクション 4.1.2 「ファイルモードを使用したデータの転送」に進みます。

#### 4.1.1 直接モードを使用したデータの転送

- 1 19 ページのセクション 4.1 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの保存」の手順 1 から手順 13 を行っておく必要があります。
- 2 ZENworks Personality Migration が Windows ファイアウォールで有効にされていることを確認します。有効ではない場合は、25 ページの「Windows ファイアウォールを使用して、ZENworks Personality Migration を有効にする」を参照してください。
- 3 [直接] を選択して [次へ] をクリックします。ソースシステムは、宛先システムが接続するまで待機します。



- 4 ZENworks Personality Migration がインストールされている宛先システムで、適用する設定とデータが保存されているソースシステムを選択します。
- 5 [次へ] をクリックして、転送先のデバイスに設定とデータを適用します。  
26 ページのセクション 4.2 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの適用」のステップ 6 を続行します。



## Windows ファイアウォールを使用して、ZENworks Personality Migration を有効にする

直接モードを使用してネットワーク上のデバイス間でパーソナリティをマイグレートする場合、Windows ファイアウォールが特定の例外を検出できるようにする必要があります。

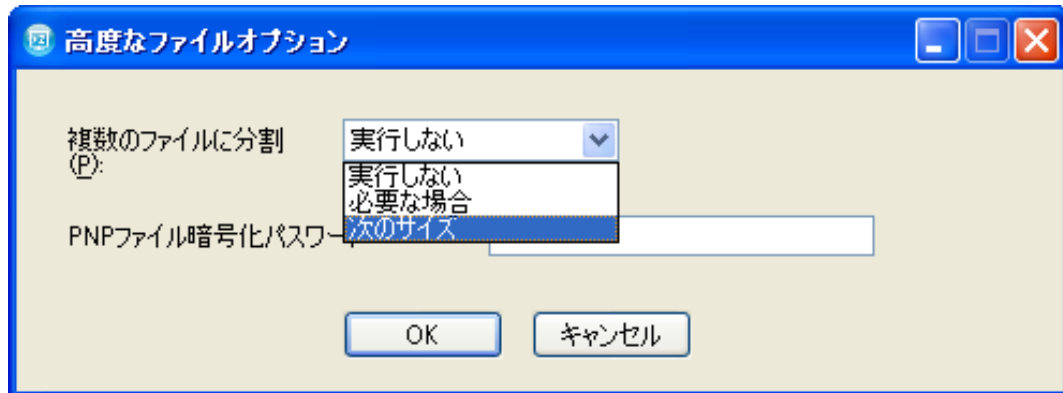
- 1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] の順にクリックします。
- 2 [Windows ファイアウォール] をダブルクリックし、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスを開きます。
- 3 [例外] タブをクリックします。
- 4 [プログラムおよびサービス] リストで、ZENworks Personality Migration および ZENworks Personality Core の例外が使用可能であり、選択されているかどうかを確認します。これらの例外が使用可能であり、選択されている場合、[ステップ 7](#)に進みます。
- 5 [プログラムおよびサービス] リストで例外を使用できない場合、[プログラムの追加] をクリックします。
- 6 Personality Migration インストールフォルダを参照して、PersonalityMigration.exe と PersonalityMigrationCore.exe ファイルを選択します。
- 7 [OK] をクリックします。

### 4.1.2 ファイルモードを使用したデータの転送

- 1 [19 ページのセクション 4.1 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの保存」](#) の手順 1 から手順 13 を行っておく必要があります。
- 2 [ファイル] を選択します。



- 3 [詳細] をクリックします。[高度なファイルオプション] ダイアログボックスが表示されます。



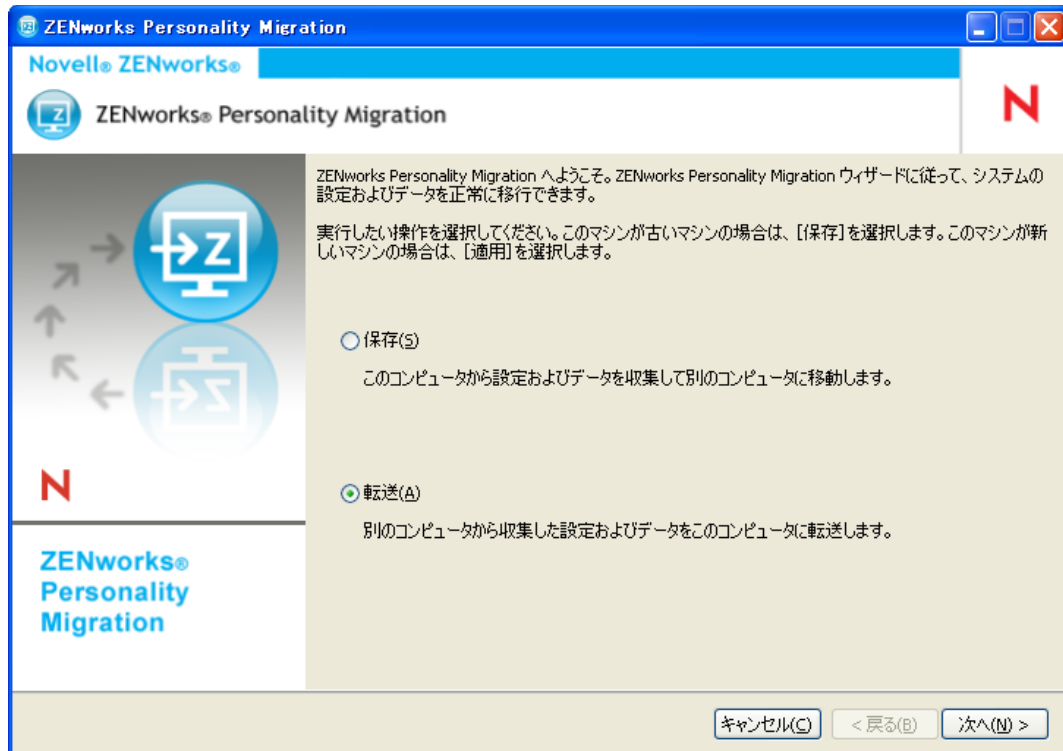
ZENworks Personality Migration では、システムから取得した設定とデータを複数のファイルに保存できます。デフォルトでは、650MB のファイルが作成されます。最大スパンサイズは 2GB です。[複数のファイルに分割] オプションを使用すると、Personality Migration の出力ファイルのサイズを制御することができます。

[PNP ファイルを暗号化するパスワード] オプションを使用すると、Personality Migration によって生成されたデータファイルがパスワードによって保護されます。宛先マシンに設定を適用するときに、パスワードが求められます。

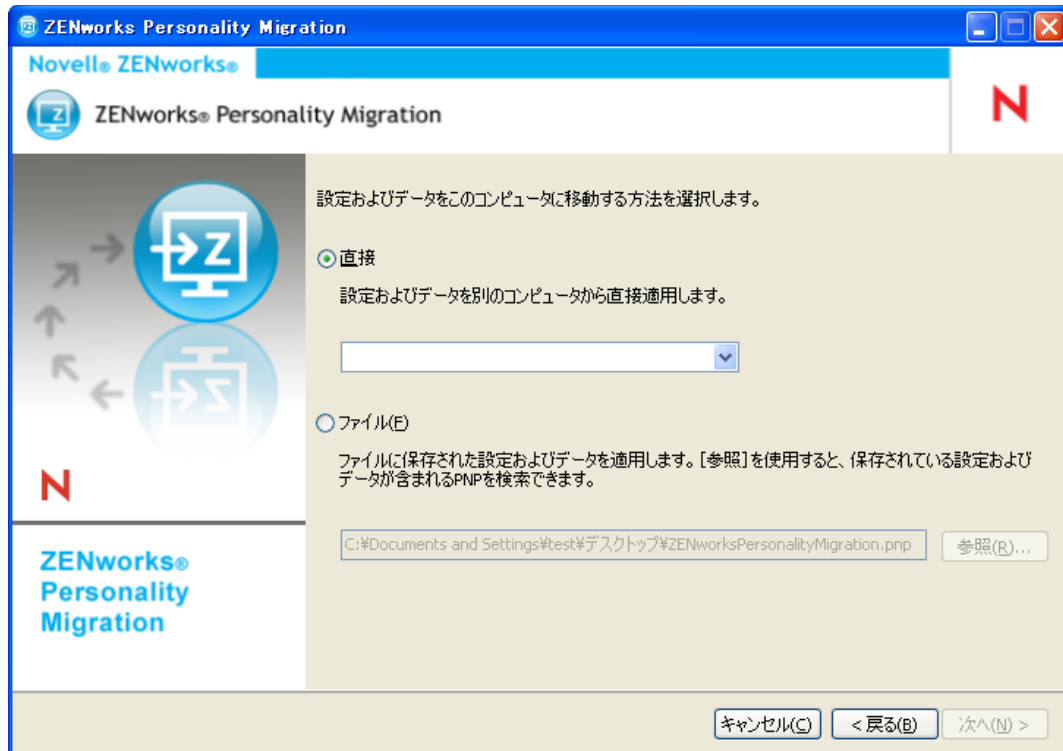
- 4 [高度なファイルオプション] ダイアログボックスを閉じるには、[OK] をクリックします。
- 5 保存される設定とファイルの進行状況を表示するには、[次へ] をクリックします。
- 6 結果を確認するには、[次へ] をクリックします。エラーが赤で表示されます。
- 7 保存プロセスを完了するには、[完了] をクリックします。

## 4.2 ユーザのパーソナリティ設定とデータの適用

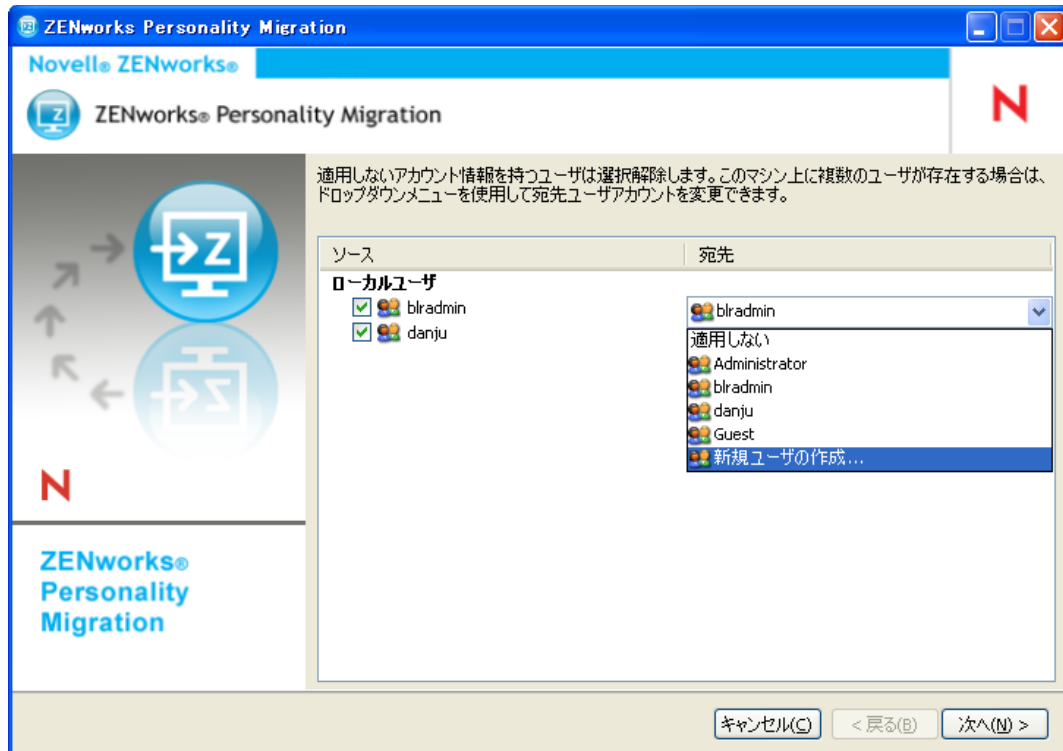
- 1 Personality Migration が宛先デバイスにインストールされていることを確認してください。詳細については、[13 ページのセクション 2.2 「Windows への ZENworks Personality Migration のインストール」](#) を参照してください。
- 2 次のいずれかの方法を使用して、次のようにシステム上の ZENworks Personality Migration を起動します。
  - ◆ デスクトップの [ZENworks Personality Migration] ショートカットアイコンをクリックする。
  - ◆ [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Personality Migration] の順にクリックします。



- 3 デバイス上に保存された設定およびデータを適用するには、[適用] をクリックします。
- 4 [次へ] をクリックしてから、ユーザのパーソナリティ設定とデータを転送するモードを選択します。



- ◆ **直接**：同じサブネット内において、設定およびデータをシステム間でリアルタイムにマイグレートします。このユーティリティは、パーソナリティをマイグレートする準備ができています。ネットワーク内のすべてのマシンを識別して一覧表示します。**ステップ 5**に進みます。
  - ◆ **ファイル**：PNP ファイルに保存されているマイグレーションの設定およびデータを使用します。保存操作中に保存された PNP ファイルを参照して選択するには、[ブラウズ] をクリックします。**ステップ 7**に進んでください。
- 5 適用する設定とデータが保存されているソースシステムを選択します。
  - 6 [次へ] をクリックし、次のいずれかの転送オプションを選択します。
    - ◆ **標準**：ユーザのプロファイルから、選択したすべての設定とデータをソースシステムから宛先システムに移行できます。宛先システムにユーザのアカウントが存在しない場合、管理者が宛先システムにログインしていれば、ユーザのアカウントが空白のパスワード付きで新しく作成されます。管理者が宛先システムにログインしていない場合、選択した設定は、宛先システムにログインしているユーザのプロファイルにマイグレートされます。**ステップ 13**に進んでください。
    - ◆ **カスタム**：パーソナリティ設定とデータをカスタマイズしてから宛先システムへ移行できます。パーソナリティを別のユーザに移行するか、それとも宛先システムに新しいユーザを作成するかを選択できます。**ステップ 7**に進みます。
  - 7 [次へ] をクリックします。



[ソース] カラムには、PNP ファイルに保存されていたユーザアカウント情報のリストが表示されます。

[宛先] カラムには、現在のデバイスで使用できるユーザアカウントのリストが表示されます。

管理者が宛先デバイスにログインし、ソースユーザが宛先デバイスに存在しない場合、ソースユーザのアカウントが宛先デバイス上に空白のパスワード付きで自動的に作成されます。

**重要：**パスワードの複雑性ポリシーが宛先デバイスで有効になっている場合、ソースユーザアカウントは宛先デバイス上に作成されません。

管理者が宛先デバイスにログインしていない場合、選択した設定は、宛先デバイスにログインしているユーザのプロファイルにマイグレートされます。

[宛先] カラムで、次の操作を実行することもできます。

- 既存のユーザアカウントを選択して、別のユーザにパーソナリティ設定を適用します。  
たとえば、[bradmin] のパーソナリティ設定を [ゲスト] ユーザに適用できます。
- 新規ユーザのアカウントを作成し、個別の設定をこの新しく作成されたユーザに適用するには、[新規ユーザの作成] をクリックします。新規ユーザのユーザ名とパスワードを入力するようプロンプトが表示されます。

**注：**パスワードの複雑性ポリシーが目的のデバイスで有効になっている場合、目的のデバイスのパスワードの複雑性ポリシーに一致するパスワードを指定してください。

- 8 [次へ] をクリックします。移行しないシステム設定を選択解除します。
- 9 [次へ] をクリックします。移行しないアプリケーション設定を選択解除します。
- 10 (オプション) アプリケーション間でパーソナリティ設定を適用するには、[宛先] カラムでアプリケーション名をダブルクリックし、別のアプリケーションを選択します。たとえば、FireFox\* のブックマークおよび設定を Internet Explorer\* に適用したり、その逆のを行うことができます。
- 11 [次へ] をクリックします。移行しないファイル設定を選択解除します。
- 12 (オプション) [宛先] カラムのファイル名をダブルクリックして、ファイルの宛先を変更します。
- 13 [次へ] をクリックすると、選択した設定が宛先デバイスに移行されます。このステップは、マイグレートされるデータの量によっては、数分かかる場合があります。
- 14 マイグレーションの結果を確認します。エラーが発生した場合、赤で表示されます。

# パーソナリティ設定の自動的なマイグレート

ZENworks® Personality Migration を使用すると、エンタープライズ間で、ある Windows の管理対象デバイスから別の Windows の管理対象デバイスに大幅にパーソナリティをマイグレートする場合に、マイグレーションを自動化することができます。

パーソナリティ設定を自動的にマイグレートするには、一覧表示された順序で、次のタスクを実行します。

- ◆ 31 ページのセクション 5.1 「パーソナリティテンプレートの作成」
- ◆ 45 ページのセクション 5.2 「既存のテンプレートの変更」
- ◆ 45 ページのセクション 5.3 「パーソナリティ設定の自動マイグレート」
- ◆ 46 ページのセクション 5.4 「コマンドプロンプトを使用してパーソナリティ設定をマイグレートする」
- ◆ 47 ページのセクション 5.5 「パーソナリティの保存および適用のコマンドプロンプトオプション」

## 5.1 パーソナリティテンプレートの作成

Personality Migration では、テンプレートを使用して、ディレクティブバンドルを使用した自動化されたマイグレーションを実行します。これにより、特定のマシンでマイグレーションを実行するたびに ZENworks Personality Migration のユーザインタフェースを使用しなくても、効率的にマイグレートできます。保存処理と適用処理には同じテンプレートを使用してください。

テンプレートは、ZENworks Personality Migration エンジンに対して、次の設定カテゴリのマイグレーションルールを示すポリシーを定義します。

- ◆ ユーザ
- ◆ システム設定
- ◆ アプリケーション設定
- ◆ ファイルおよびフォルダ

このテンプレートにより、ソース Windows マシンから PNP ファイルに保存する項目と、宛先マシンに適用する項目が伝えられます。

テンプレートは XML ファイルであり、任意のエディタで読み込んだり編集することができます。ただし、マイグレーション用のカスタムテンプレートを作成するには、ZENworks Personality Migration のテンプレートビルダが便利です。テンプレートビルダを使用することで、組織全体のマイグレーション処理を標準化して統一することができます。テンプレートはテンプレートビルダを使用して作成できます。

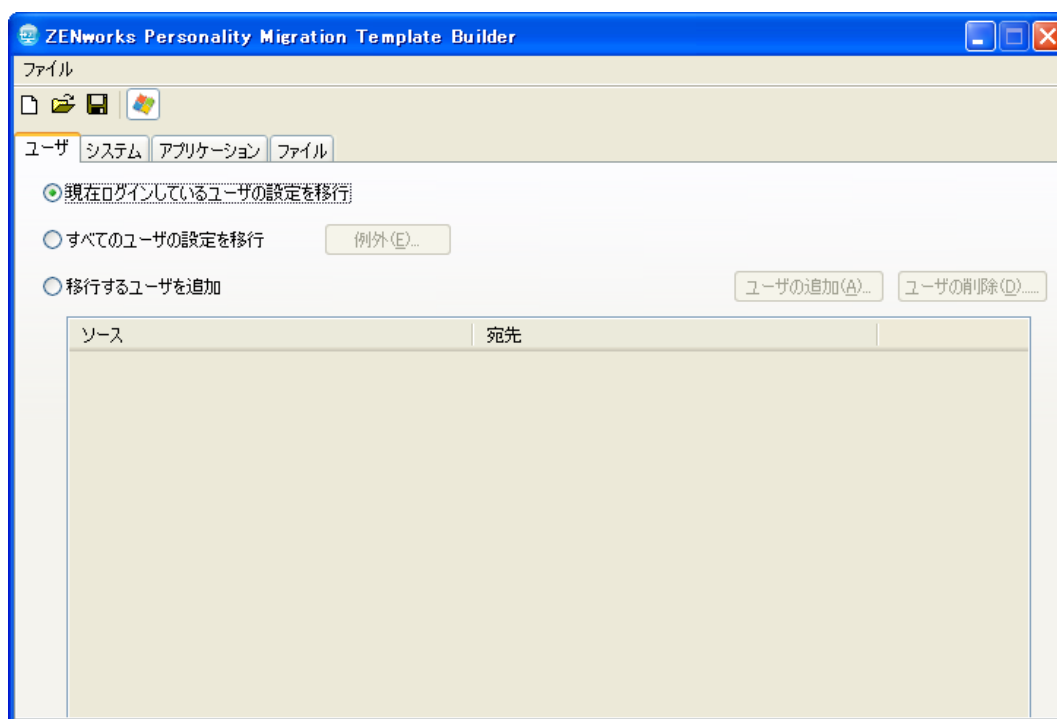
## 5.1.1 テンプレートビルダの起動

- 1 サポートされている Windows デバイスで、[スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Personality Migration テンプレートビルダ] の順にクリックします。

## 5.1.2 テンプレートビルダを使用したテンプレートの作成

テンプレートビルダは、[新規]、[開く] および [保存] などの標準的な [ファイル] オプションのほかに、4つのタブから構成されます。

- 1 テンプレートビルダを開いて、デフォルトの [ユーザ] タブを表示します。  
[ユーザ] タブのオプションにより、ユーザマイグレーションのテンプレート情報が制御されます。



- 2 1人のユーザ、すべてのユーザ、または選択したユーザのリストのどれをマイグレートするのかに応じて、次の表のオプションの1つを選択します。

オプション	説明
現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする	現在ログインしているユーザの設定を、ログインしている別のユーザにマイグレートします。



---

オプション	説明
すべてのユーザの設定をマイグレーションする	<p>システム内のすべてのユーザプロファイルに対して、テンプレートで選択したすべての設定をマイグレートします。マイグレーションから除外するユーザを一覧にするには、[例外] をクリックします。</p> <p><b>ユーザの追加:</b> すべてのローカルユーザ、ドメインユーザ、またはマイグレーションから除外する特定のユーザを選択できます。たとえば、マイグレーション対象のいずれのシステムからも管理者設定を移行しない場合は、[ユーザの追加] をクリックし、[次のユーザ] オプションを選択して、[administrator] を指定してから [OK] をクリックします。</p> <p><b>ユーザの削除:</b> マイグレーションから除外するユーザのリストから、ユーザを削除することができます。</p>

---

---

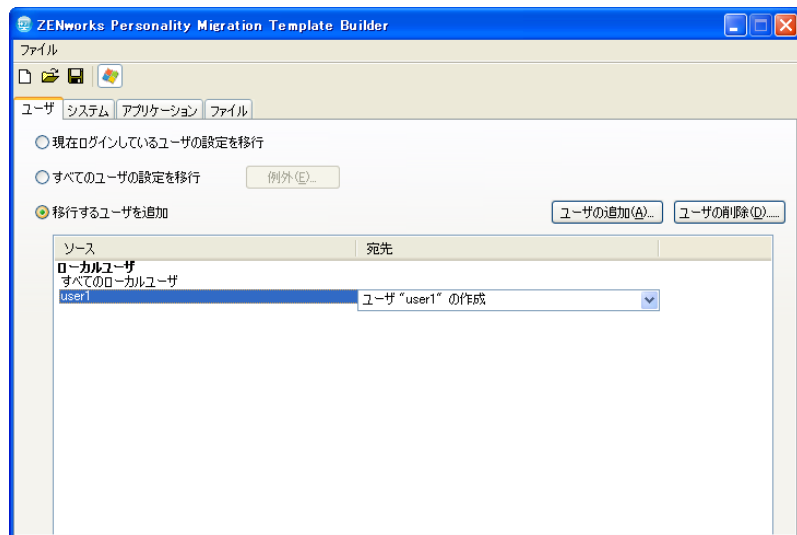
**オプション****説明****マイグレーションする  
ユーザの追加**

このオプションを使用すると、マイグレートするプロファイルを明示的に一覧表示することができます。

**ユーザの追加**：すべてのローカルユーザ、ドメインユーザ、または移行する特定のユーザを選択できます。

ソースマシンのユーザ名を宛先マシンの別のユーザ名にマップすることもできます。

1. [ユーザの追加] をクリックします。
2. [次のユーザ] オプションをクリックし、ユーザ名を指定します。指定したユーザ名がホストマシンで有効なアカウント (user1 など) であることを確認してください。
3. [OK] をクリックします。ユーザ名が [ソース] カラムに表示されます。



4. ドロップダウンリストから、新しく追加したユーザの宛先をクリックします。新しく追加したユーザの宛先は、デフォルトで [ユーザ名「username」の作成] として表示されます。たとえば、[ユーザ「user1」の作成] などです。ユーザのアカウントが、宛先デバイスに空白のパスワード付きで作成されます。

---

**重要**：パスワードの複雑性ポリシーが宛先デバイスで有効になっている場合、ソースユーザアカウントは宛先デバイス上に作成されません。

---

または

[新しいユーザの作成] オプションを選択して、パーソナリティ設定をマイグレートする宛先マシンに作成するユーザ名とパスワードを指定します。パスワードの複雑性ポリシーが転送先のデバイスで有効になっている場合、指定するパスワードは転送先のデバイスのパスワードの複雑性に一致する必要があります。

5. [OK] をクリックします。

**ユーザの削除**：移行するユーザのリストからユーザを削除できます。

---

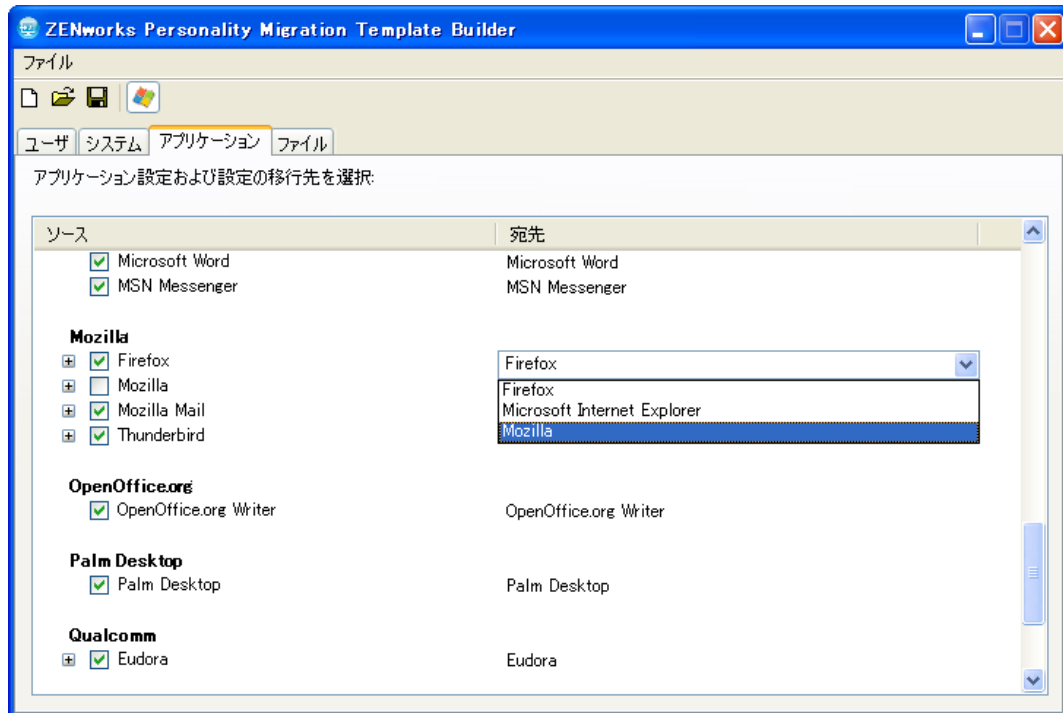
- 3 [システム] タブをクリックし、移行しない設定を選択解除します。



[システム] タブでは、[ユーザ] タブで選択したユーザアカウントごとに、移行するシステム設定を制御します。デフォルトでは、すべての設定が選択されています。

すべてのオプションを選択解除するには、[ソース] パネルを右クリックし、[すべてオフ] オプションを選択します。[ソース] パネルの全オプションを選択するには、右クリックして、[すべてオン] オプションを選択します。

- 4 [アプリケーション] タブをクリックします。移行可能なすべてのアプリケーションのリストが表示されます。

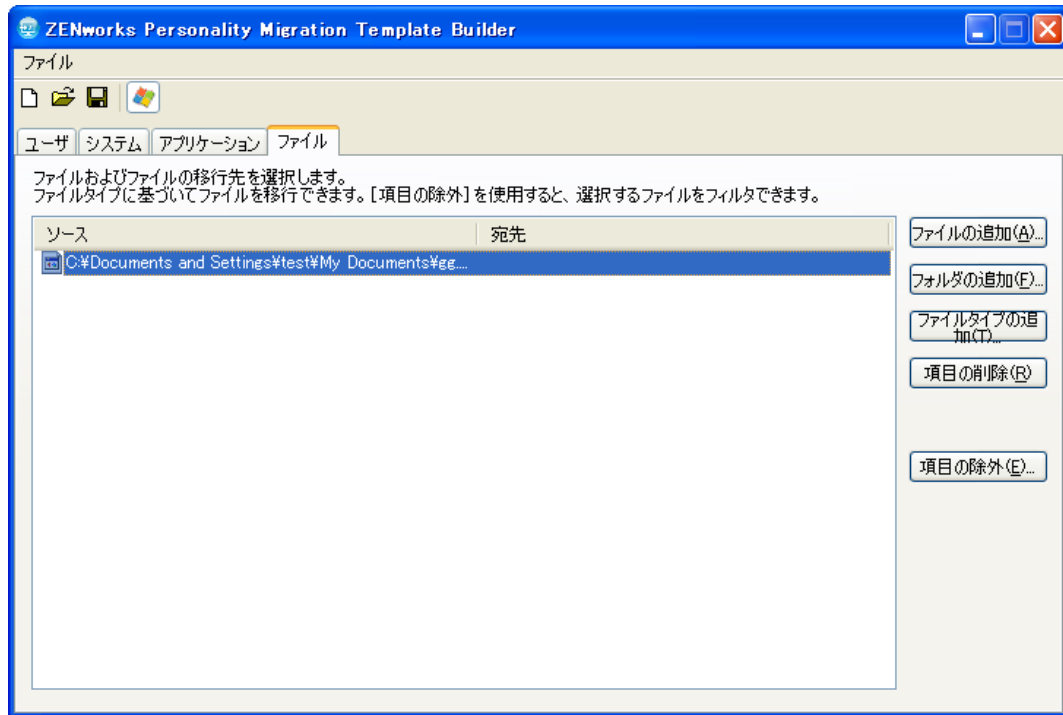


すべてのオプションを選択解除するには、[ソース] パネルを右クリックし、[すべてオフ] オプションを選択します。すべてのオプションを選択するには、[ソース] パネルを右クリックし、[すべてオン] オプションを選択します。

- 5 [宛先] カラムのドロップダウンリストから、適切な宛先アプリケーションを選択します。ZENworks Personality Migration では、次のアプリケーション間でアプリケーション設定を移行できます。
  - **同じバージョンの同じアプリケーション間**：Microsoft Office 2003 から Microsoft Office 2003 などのように、同じバージョンのアプリケーション間での設定をマイグレートします。
  - **同じアプリケーションの異なるバージョン間**：ソースアプリケーションから、より新しいバージョンの宛先のアプリケーションに設定をマイグレートします。たとえば、Microsoft Office 2003 から Microsoft Office 2007 にマイグレートする場合などです。
  - **異なるアプリケーション間**：ソースアプリケーションから、類似したタイプの宛先アプリケーションに設定を移行します。たとえば、Internet Explorer から Firefox などです。

マイグレーションを実行する前に、宛先アプリケーションが宛先マシンにインストールされていることを確認してください。マイグレートするよう選択されたアプリケーションの設定がソースマシンまたは宛先マシンで使用可能でない場合、そのアプリケーションの設定は無視されます。

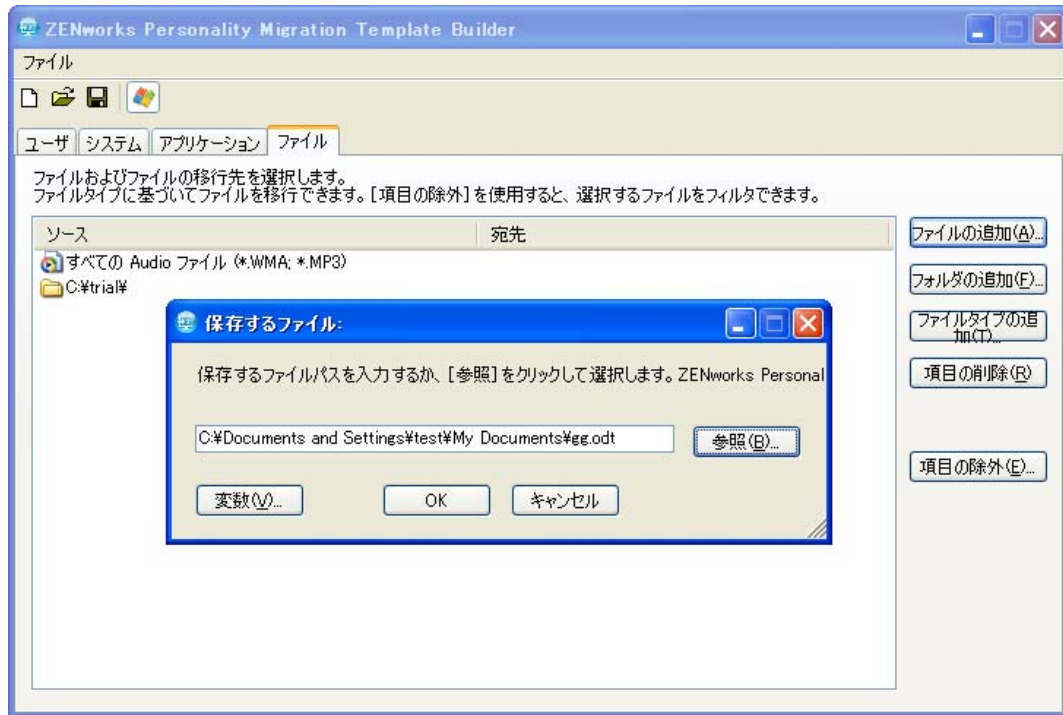
- 6 マイグレートデータの設定を表示するには、[ファイル] タブをクリックします。



[ファイル] タブを使用すると、データのマイグレーションのルールを設定することができます。

**重要：**一時フォルダ全体を宛先にマイグレートしないでください。マイグレートするファイルのみを選択してください。これは、マイグレーションプロセスでは一時フォルダが使用されるので、マイグレーションのためにフォルダ全体を選択するとエラーメッセージが表示されるためです。

- 7 マイグレートするファイルを追加するには、[ファイルの追加] をクリックします。



**7a** [参照] をクリックして、マイグレーション対象として追加するファイルをブラウザして選択します。

または

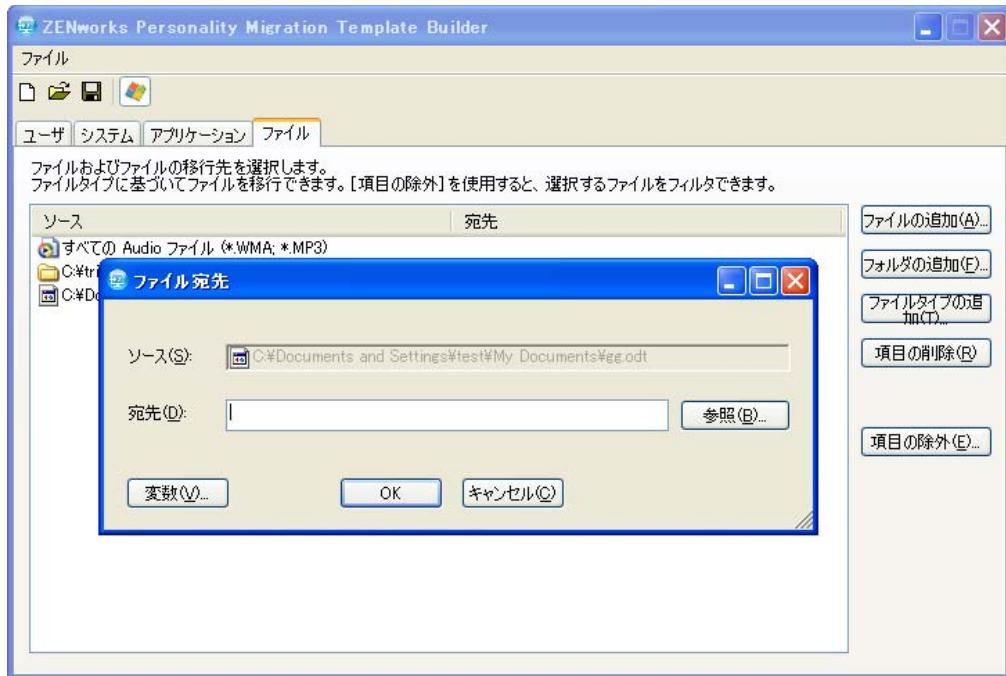
[変数] をクリックして、移行するファイルの場所にマップされた変数を選択します。たとえば、test.txt という名前のデスクトップファイルをマイグレートする場合、desktop 変数をクリックし、/test.txt を追加します。

変数がディレクトリの場合、パスの最後が \ (バックスラッシュ) になるようにしてください。たとえば、desktop ディレクトリをマイグレートする場合、変数は %desktop%\ です。

変数については、65 ページの付録 E「変数の理解」を参照してください。

**7b** [OK] をクリックします。ファイルが [ソース] カラムに一覧にされます。

**7c** [ソース] カラムのファイル名をダブルクリックします。[ファイル宛先] ダイアログボックスが表示されます。



**7d** [参照] をクリックし、ファイルのマイグレーションの宛先場所をブラウズして選択します。

または

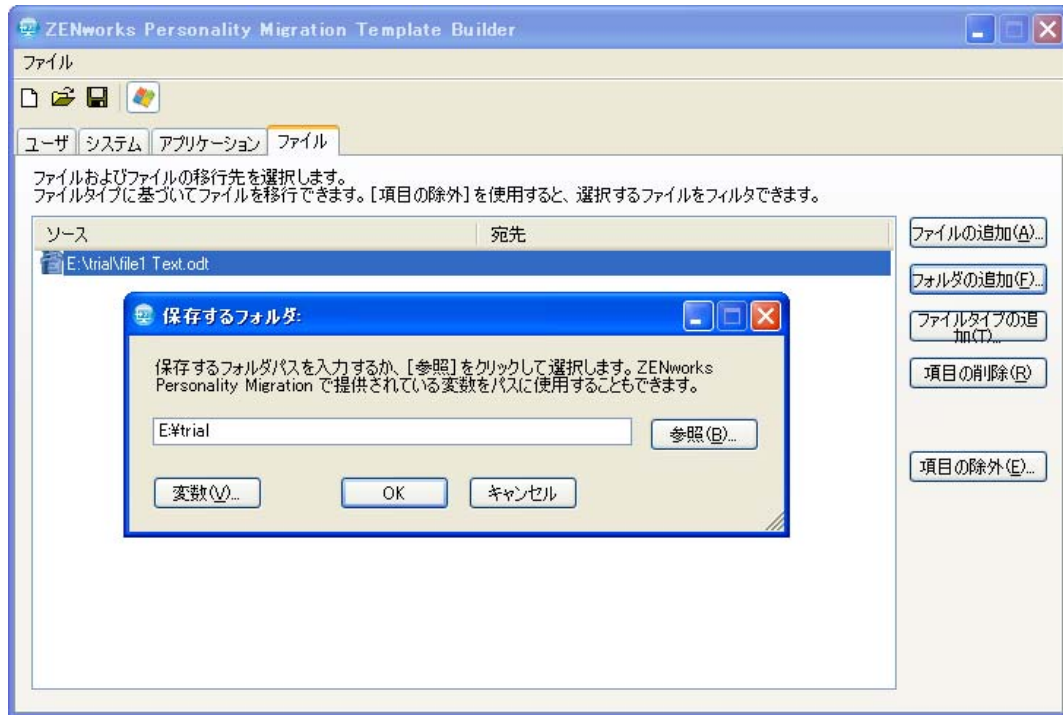
[変数] をクリックして、宛先の場所にマップされた変数を選択します。たとえば、file1 という名前のファイルを favorites ディレクトリに移行するには、[favorites] 変数をクリックし、この変数の後に file1 を追加します。

変数がディレクトリの場合、パスの最後が \ (バックスラッシュ) になるようにしてください。たとえば、desktop ディレクトリをマイグレートする場合、変数は %desktop%\ です。

変数については、65 ページの付録 E「変数の理解」を参照してください。

**7e** [OK] をクリックします。

**8** [フォルダの追加] をクリックして移行するフォルダを追加します。



**8a** [参照] をクリックして、マイグレーション対象として追加するフォルダをブラウズして選択します。

または

[変数] をクリックして、移行するフォルダの場所にマップされた変数を選択します。たとえば、testfolder1 というデスクトップフォルダを移行するには、[%desktop%] 変数をクリックして /testfolder1 をこの変数の後に追加します。

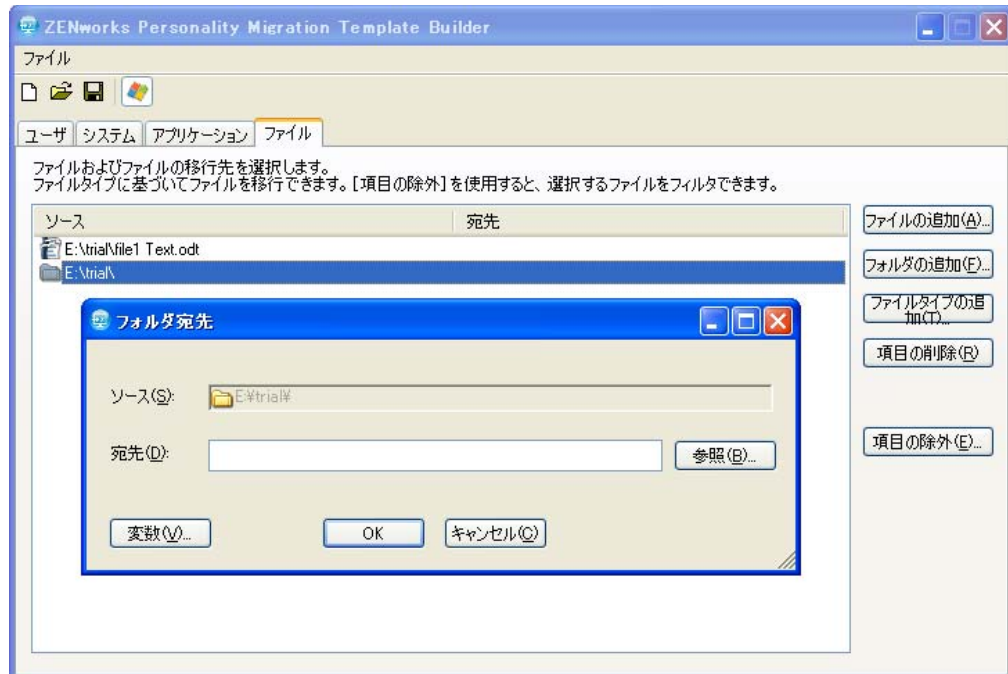
変数がディレクトリの場合、パスの最後が \ (バックスラッシュ) になるようにしてください。たとえば、desktop ディレクトリをマイグレートする場合、変数は %desktop%\ です。

変数については、65 ページの付録 E「変数の理解」を参照してください。

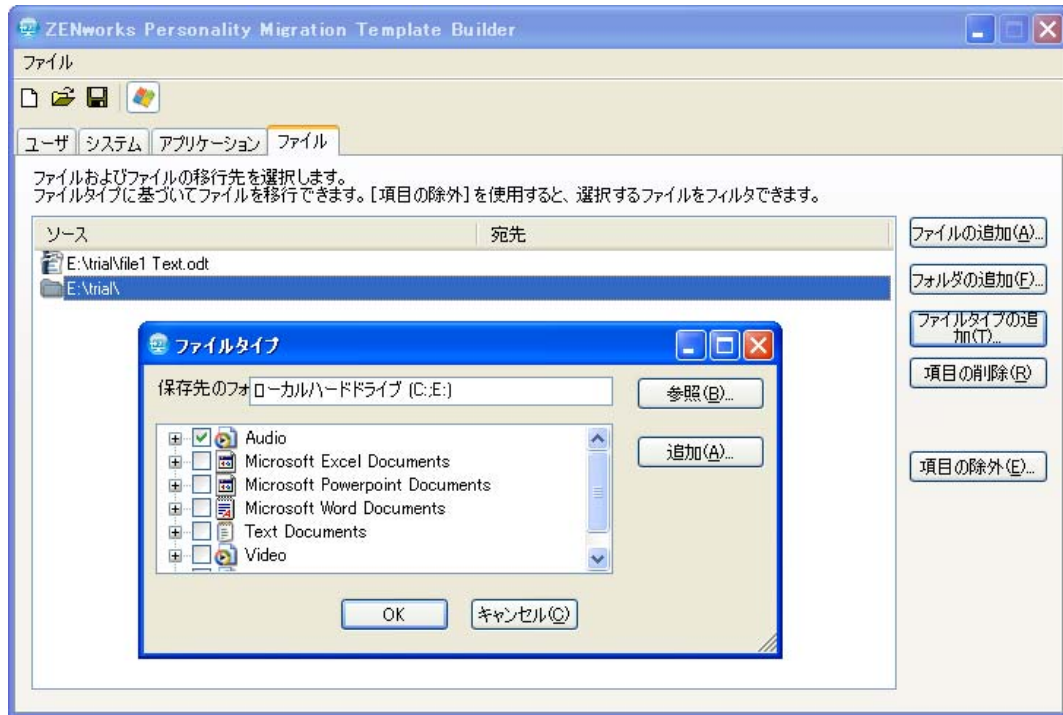
**8b** [OK] をクリックします。フォルダが [ソース] カラムに一覧にされます。

**8c** [ソース] カラムのフォルダ名をダブルクリックします。[フォルダ宛先] ダイアログボックスが表示されます。

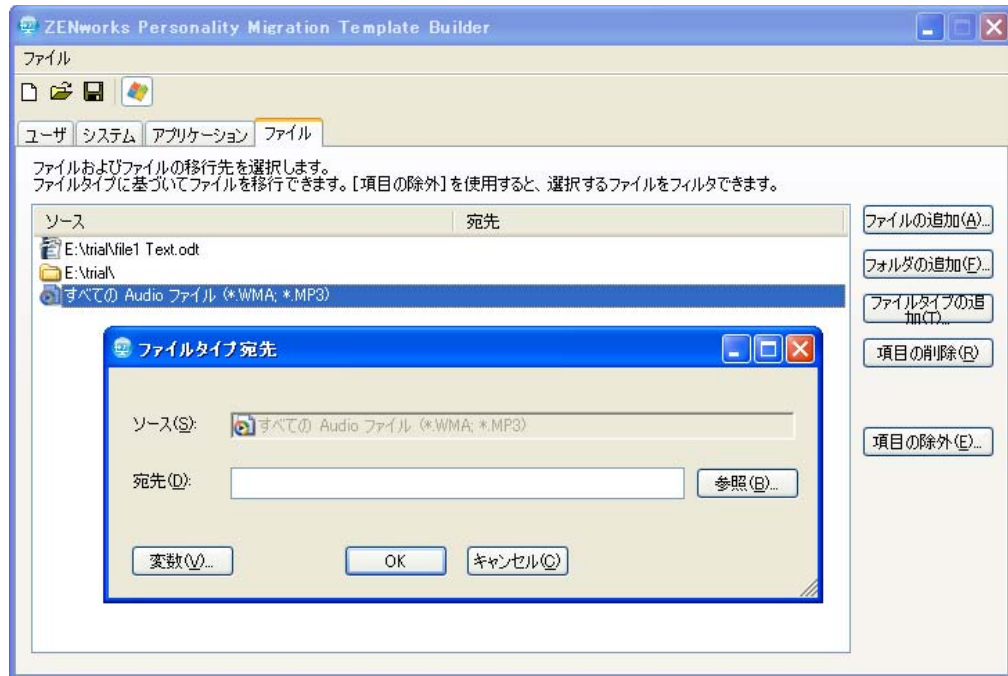




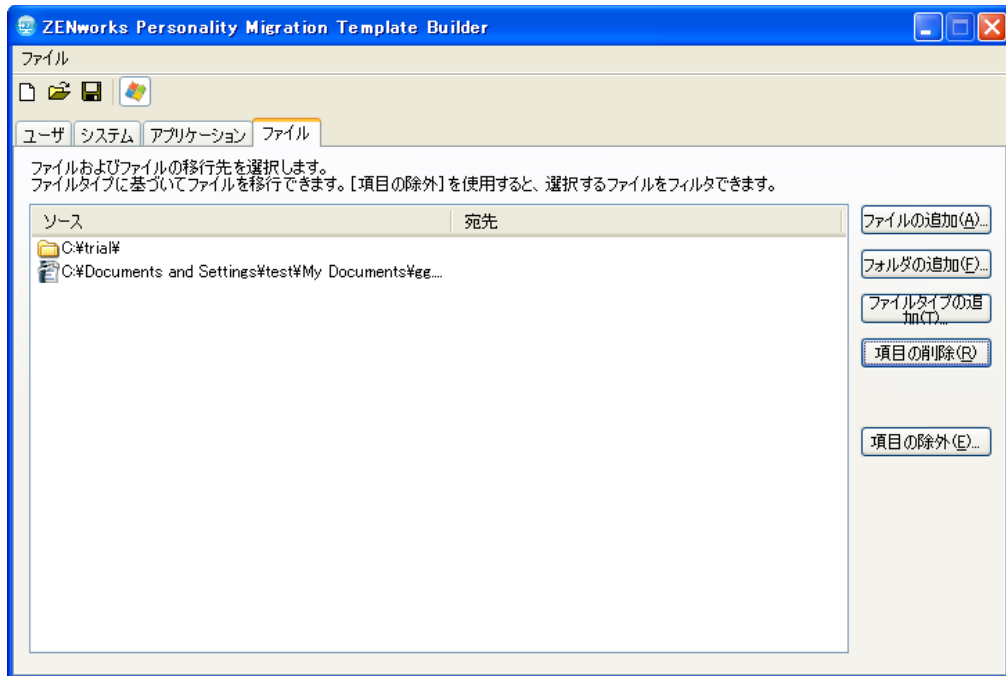
- 8d** [参照] をクリックし、フォルダを移行する宛先場所をブラウザして選択します。または
- [変数] をクリックして、宛先の場所にマップされた変数を選択します。たとえば、`folder1` という名前のフォルダを `programfiles` ディレクトリに移行するには、`[programfiles]` 変数をクリックして `/folder1` という名前をこの変数の後に追加します。
- 変数がディレクトリの場合、パスの最後が `\` (バックスラッシュ) になるようにしてください。たとえば、`desktop` ディレクトリをマイグレートする場合、変数は `%desktop%\` です。
- 変数については、[65 ページの付録 E「変数の理解」](#) を参照してください。
- 8e** [OK] をクリックします。
- 9** [ファイルタイプの追加] をクリックして、移行するファイルのタイプを追加します。



- 9a [フォルダ内] フィールドに名前を入力するか、[参照] をクリックし、フォルダをブラウズして選択します。デフォルトで、すべてのローカルハードドライブがこのフィールドに表示されます。
- 9b (オプション) ファイルタイプを追加する必要がある場合は、[追加] をクリックしてから「.INI」などのファイルタイプを指定します。
- 9c 移行するファイルタイプを選択してから [OK] をクリックします。ファイルタイプが [ソース] カラムに一覧にされます。
- 9d [ソース] カラムのファイルタイプをダブルクリックします。[ファイルタイプ宛先] ダイアログボックスが表示されます。



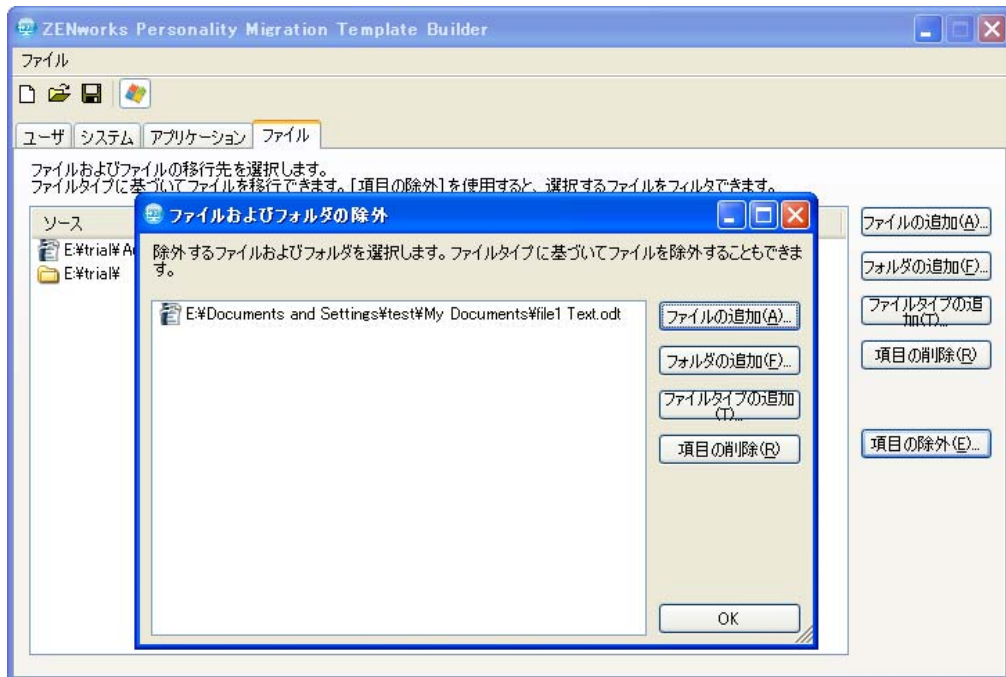
- 9e** [参照] をクリックし、ファイルの宛先場所をブラウザして選択します。  
または  
[変数] をクリックして、宛先の場所にマップされた変数を選択します。  
変数については、65 ページの付録 E「変数の理解」を参照してください。
- 9f** [OK] をクリックします。
- 10** (オプション) 移行しないファイルまたはフォルダを削除します。
- 10a** [ソース] カラムで、マイグレートしない項目をハイライトします。



10b [項目の削除] をクリックします。

11 (オプション) マイグレートしないファイルおよびフォルダを除外します。

11a [項目の除外] をクリックします。[ファイルおよびフォルダの除外] ダイアログボックスが表示されます。



**11b** 次の中から、項目を除外するために使用するオプションを選択します。

- ◆ **Add Files:** [ファイルの追加] をクリックし、マイグレーションから除外するファイルを選択します。
- ◆ **追加:** [フォルダの追加] をクリックし、マイグレーションから除外するフォルダを選択します。
- ◆ **ファイルタイプの追加:** [ファイルタイプの追加] をクリックし、マイグレーションから除外するファイルのタイプを選択します。
- ◆ **項目の削除:** [項目の削除] をクリックして、除外リストから項目を削除してマイグレーションに含めます。

**11c** [OK] をクリックします。

**12** 次のファイル形式でテンプレートを保存するには、[ファイル] > [保存] の順にクリックします。xml ファイルとして保存します。

## 5.2 既存のテンプレートの変更

ZENworks Personality Migration のテンプレートビルダでは、既存のテンプレートを変更することもできます。

- 1 [ファイル] > [開く] の順にクリックし、変更するテンプレートを開きます。
- 2 必要な変更を行います。
- 3 テンプレートを保存します。

## 5.3 パーソナリティ設定の自動マイグレート

ある Windows デバイスから別の Windows デバイスへの、エンタープライズ規模のパーソナリティ設定のマイグレーションでは、ディレクティブバンドルを使用します。

[パーソナリティの保存] または [パーソナリティの適用] アクションを使用してバンドルを作成すると、バンドルは常にダイナミック管理者として実行されます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「アクション - 実行可能ファイルの起動」を参照してください。

---

**注:** 同じデバイス上で、複数のパーソナリティマイグレーションバンドルを同時に起動しないでください。起動すると、バンドルは正しく起動されません。personalitylog.xml ファイルに保存されるログは、最初に起動したバンドルのログのみです。バンドルのダイナミック管理ユーザプロファイルも削除されません。それらのプロファイルは、手動で削除する必要があります。

---

- 1 パーソナリティの保存アクションを作成します。  
詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「ディレクティブバンドルの作成」を参照してください。
- 2 このバンドルを、ユーザ、またはユーザのパーソナリティをマイグレートする必要があるデバイスに割り当てます。  
バンドルの割り当ての詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「ユーザへの既存のバンドルの割り当て」を参照してください。
- 3 パーソナリティの適用アクションを作成します。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「ディレクティブバンドルの作成」を参照してください。

- 4 パーソナリティを適用するユーザにこのバンドルを割り当てます。

バンドルの割り当ての詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「ユーザへの既存のバンドルの割り当て」を参照してください。

パーソナリティの適用アクションを起動するときに、宛先システム上のユーザにパーソナリティ設定が適用されます。

---

**重要：**パーソナリティを適用した後、デバイスを再起動してパーソナリティを反映させます。これを確実にを行うために、再起動/シャットダウンアクションをバンドルに追加します。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「ディレクティブバンドルの作成」を参照してください。

---

## 5.4 コマンドプロンプトを使用してパーソナリティ設定をマイグレートする

- 1 管理者としてマイグレーションプログラムを実行します。

方法 1:

1. Windows で [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] の順に選択して、コマンドプロンプトを開きます。[コマンドプロンプト] を右クリックして [管理者として実行] をクリックします。
2. ZENworks Personality Migration のインストールディレクトリに変更します。

方法 2:

1. Personality Migration をインストールしたディレクトリで、PersonalityMigrationCore.exe ファイルを右クリックします。
  2. [プロパティ] > [互換性] の順にクリックします。
  3. [特権レベル] グループで、[管理者としてこのプログラムを実行する] を選択して [OK] をクリックします。
  4. Windows で [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [コマンドプロンプト] の順に選択して、コマンドプロンプトを開きます。
  5. ZENworks Personality Migration のインストールディレクトリに変更します。
- 2 ソースデバイス上で、次のコマンドを使用してパーソナリティの設定を保存します。

```
PersonalityMigrationCore.exe --store --template=value --file=value
```

password、span-size、no-span、log オプションも使用できます。ただし、これらの使用はオプションです。

例：

```
PersonalityMigrationCore.exe --store --template=C:\template.xml --file=C:\users.pnp --log=C:\users.log
```

オプションの詳細については、47 ページのセクション 5.5 「パーソナリティの保存および適用のコマンドプロンプトオプション」を参照してください。

- 3 宛先デバイス上で、次のコマンドを使用してパーソナリティを適用します。

```
PersonalityMigrationCore.exe --apply --template=value --file=value
```

password および log オプションも使用できます。ただし、これらの使用はオプションです。

例：

```
PersonalityMigrationcore.exe --apply --template=C:\template.xml --file=C:\users.pnp --log=C:\users.log
```

オプションの詳細については、[47 ページのセクション 5.5 「パーソナリティの保存および適用のコマンドプロンプトオプション」](#)を参照してください。

## 5.5 パーソナリティの保存および適用のコマンドプロンプトオプション

表 5-1 コマンドプロンプトオプション

オプション	説明 / 値
file	PNP ファイルの完全パスと名前
template	テンプレートの完全パスと名前
span-size	スパンされたファイルのサイズ (MB 単位) デフォルトのスパンサイズは 650MB で、最大スパンサイズは 2GB です
no-span	スパンせずにパーソナリティをマイグレートします
password	PNP ファイルにアクセスするためのパスワード
with-options	コマンドが 256 文字を超過する場合に、コマンドラインパラメータが保存されるファイル名
log	ログファイルの完全パスと名前





# ベストプラクティス

# A

次のセクションでは、Personality Migration ユーティリティを使用する際のベストプラクティスについて説明します。

- [49 ページのセクション A.1 「パーソナリティの保存と適用」](#)
- [49 ページのセクション A.2 「コンピュータ名の長さの設定」](#)

## A.1 パーソナリティの保存と適用

システム設定を変更したら、パーソナリティを保存する前にデバイスを再起動してください。同様に、パーソナリティを適用する前後に、デバイスを再起動してください。これは、デバイスを再起動した後にのみ、特定のシステム設定が適用されるためです。

## A.2 コンピュータ名の長さの設定

パーソナリティを保存するコンピュータの名前は、15 文字以下である必要があります。これは、NetBIOS では、コンピュータ名として指定できる文字の最大数は 15 に設定されているためです。



# Personality Migration のトラブルシューティング

このセクションでは、Personality Migration で作業を行っているときに発生する可能性がある問題に対する解決方法について説明します。

- 51 ページの「直接モードを使用してソースデバイスから宛先デバイスにネットワークの設定をマイグレートする場合、両方のデバイスが同じサブネット上にあると、ネットワーク接続が失われる。」
- 51 ページの「Personality Migration で設定マイグレーションのデバッグ用ログを有効にする方法は？」
- 51 ページの「Personality Migration のログファイルの場所は？」
- 52 ページの「Personality Migration のアプリケーションがハングする」
- 52 ページの「Microsoft Outlook 内のカスタマイズした場所からの archive.pst ファイルのマイグレーションが失敗する」

**直接モードを使用してソースデバイスから宛先デバイスにネットワークの設定をマイグレートする場合、両方のデバイスが同じサブネット上にあると、ネットワーク接続が失われる。**

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、Personality Migration

説明：直接モードでは、ソースマシンから宛先マシンにネットワークの設定をマイグレートしないでください。これは、宛先マシンがソースマシンと同じネットワークの設定を取得することにより、ソースから切断され、マイグレーションプロセスが停止するためです。

アクション：ネットワークの設定をマイグレートするには、ファイルモードを使用します。

アクション：マイグレーションを実行するために直接モードを使用する必要がある場合、[ネットワーク設定] オプションを選択解除します。

## Personality Migration で設定マイグレーションのデバッグ用ログを有効にする方法は？

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、Personality Migration

アクション：`ZENworksPersonalityMigration_Installation_Path\App.config` ファイル内で、`Enable_Debug` パラメータの値を `True` に設定します。デフォルト値は「False」です。

## Personality Migration のログファイルの場所は？

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、Personality Migration

アクション：Personality Migration がスタンドアロンアプリケーションとして実行される場合、`PersonalityMigration*.xml` ログファイルは次の場所にあります。

`%appdata%\Novell\PersonalityMigration\PersonalityMigration\10.2.0.0`

Personality Migration が ZENworks Configuration Management でバンドルの保存 / 適用を使用して実行される場合、PersonalityLog.xml ファイルはデバイスの `ZENworks_Configuration_Management_Installation_Path\Novell\Zenworks\Logs\PersonalityMigration` ディレクトリにあります。

### Personality Migration のアプリケーションがハングする

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、Personality Migration。

説明：Personality Migration アプリケーションがまだ開いているときに、Personality Migration をアンインストールしようとする、アプリケーションがハングします。ダイアログボックスが表示され、アンインストール処理の [終了]、[キャンセル]、[無視]、または [再試行] のいずれかを選択できます。

考えられる原因：[無視] をクリックしました。

アクション：Personality Migration のアンインストールの前に、確実にそのアプリケーションを閉じてください。

Personality Migration のアンインストール方法の詳細については、[17 ページの第 3 章「Personality Migration のアンインストール」](#)を参照してください。

### Microsoft Outlook 内のカスタマイズした場所からの archive.pst ファイルのマイグレーションが失敗する

ソース：ZENworks 10 Configuration Management、Personality Migration。

考えられる原因：Microsoft Outlook の設定を非管理者アカウントから保存または適用しました。

アクション：管理者のアカウントから、Microsoft Outlook の設定を保存 / 適用します。

# マイグレーションの設定

# C

Personality Migration をスタンドアロンアプリケーションとしてインストールした場合、次の設定は管理者のみがマイグレートできます。

表 C-1 マイグレートする管理者の設定

タイプ	設定
システム設定	Fonts FontInstall FontDPI SystemFonts Mouse pointer DefaultConnectionName (Internet Explorer、接続) ResetTimeServer ResetFileServer SoundFilesLocation ( デフォルト設定のサウンド ファイル ) TimeZone AutoAdjustForDSTIsSet AutoAdjustForDST SyncSettings ( 自動時間同期 ) NTPSync NTPServerAddress DefaultNTPServer UseSimpleFileSharing Trash ( ごみ箱のオプション )
Microsoft Outlook の設定	Archive.pst file
Microsoft Windows のログイン画面の設定	EnableFastSwitching WelcomeScreen LoginBackgroundColor WelcomeScreenPictures PasswordHints
Microsoft Publisher アプリケーションの設定	ResearchParentalControlPassword DisableNonFilteredResearchSites
ネットワーク設定	NetworkCards DNS IPFilterSecurity HostsFile LMHostsFile
電源およびエネルギーの設定	EnableHibernate GlobalPowerPolicy

---

タイプ	設定
ファイルおよびレジストリの設定	システムファイル すべてのユーザドキュメント すべてのマウントされているレジストリとマウン トされていないレジストリ

---

# Personality Migration でサポートされている設定

次のセクションでは、Personality Migration を使用してマイグレートできる設定が一覧表示されています。

- ◆ [55 ページのセクション D.1 「システム設定」](#)
- ◆ [56 ページのセクション D.2 「アプリケーション設定」](#)

## D.1 システム設定

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のシステム設定をマイグレートできます。

表 D-1 システム設定

カテゴリ	設定
アクセシビリティ	◆ アクセシビリティ
表示スタイル	◆ 表示スタイル ◆ デスクトップアイコン ◆ フォント ◆ フォルダオプション ◆ ログイン画面 ◆ スクリーンセーバー ◆ タスクバー ◆ 壁紙
日付と地域の設定	◆ 日時 ◆ 地域の設定
キーボード、マウスおよびその他のハードウェア	◆ キーボード ◆ マウス ◆ 電源オプション
ネットワーク	◆ ダイアルアップ ◆ マップされたドライブ ◆ ネットワーキング ◆ Sharepoints
サウンドおよびマルチメディア	◆ サウンド

---

注:宛先デバイスのオペレーティングシステムで使用できないテーマなどのシステム設定をマイグレートしている場合、マイグレーション後に、宛先デバイスのオペレーティングシステムのデフォルトテーマが適用されます。

---

## D.2 アプリケーション設定

ZENworks Personality Migration を使用してマイグレートできるアプリケーションの設定およびバージョンを理解するには、次のセクションを確認してください。

- ◆ [56 ページのセクション D.2.1 「Adobe アプリケーション」](#)
- ◆ [57 ページのセクション D.2.2 「Corel アプリケーション」](#)
- ◆ [57 ページのセクション D.2.3 「IBM アプリケーション」](#)
- ◆ [57 ページのセクション D.2.4 「Microsoft アプリケーション」](#)
- ◆ [59 ページのセクション D.2.5 「Palm アプリケーション」](#)
- ◆ [59 ページのセクション D.2.6 「Qualcomm アプリケーション」](#)
- ◆ [59 ページのセクション D.2.7 「モーションアプリケーションの調査」](#)
- ◆ [60 ページのセクション D.2.8 「Sun アプリケーション」](#)
- ◆ [60 ページのセクション D.2.9 「アメリカオンラインアプリケーション」](#)
- ◆ [60 ページのセクション D.2.10 「GAIM アプリケーション」](#)
- ◆ [61 ページのセクション D.2.11 「Mozilla Foundation アプリケーション」](#)
- ◆ [63 ページのセクション D.2.12 「OpenOffice.org アプリケーション」](#)

### D.2.1 Adobe アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションの設定をマイグレートできます。

- ◆ Acrobat\* 7.0 / 8.0
- ◆ Reader\* 6.0 / 7.0 / 8.0
- ◆ Illustrator\* 9.0 / 10.0 / 11.0 / 12.0
- ◆ ImageReady\* 7.0.1 / 8.0 / 9.0
- ◆ InDesign\* 2.0 / 3.0 / 4.0
- ◆ PageMaker\* 7.0
- ◆ Photoshop\* 7.0 / 8.0 / 9.0
- ◆ Dreamweaver\* 8.0 / MX / MX 2004
- ◆ Fireworks\* 8.0 / MX
- ◆ Flash\* 8.0 / MX
- ◆ Freehand\* 10.0 / MX



## D.2.2 Corel アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションの設定をマイグレートできます。

- ◆ Paint Shop Pro\* 10.0

## D.2.3 IBM アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションの設定をマイグレートできます。

- ◆ Lotus Notes\* 6.5

## D.2.4 Microsoft アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションの設定をマイグレートできます。

- ◆ Access\* 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- ◆ Excel\* 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- ◆ FrontPage\* 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- ◆ PowerPoint\* 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- ◆ Word 2000 / 2002 / 2003 / 2007

Word の次の設定をマイグレートできます。

- ◆ カスタムディクショナリ
- ◆ スペルと文法の確認のオプション
- ◆ オートコレクトのエントリおよびオプション
- ◆ 追跡オプションの変更
- ◆ ドキュメント表示のオプション
- ◆ 印刷オプション
- ◆ デフォルトのテンプレート
- ◆ ツールバー
- ◆ アシスタントのオプション
- ◆ Internet Explorer 5.0 / 5.5 / 6.0 / 7.0 / 8.0

Internet Explorer では、次の設定をマイグレートできます。

- ◆ ホームページ
- ◆ お気に入り
- ◆ Cookie ( 保存のみ )
- ◆ Cookie の許可
- ◆ カスタムフォントおよび色
- ◆ ポップアップの許可
- ◆ プロキシ設定

- ◆ 言語設定
- ◆ セキュリティの設定
- ◆ 詳細設定
- ◆ MSN Messenger 7.0 / 7.5 / 8.0
- ◆ Office ショートカットバー 2000 / 2002
- ◆ Outlook\* 2000 / 2002 / XP / 2003

Outlook では次の設定をマイグレートできます。

設定	オプション
電子メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アカウントの詳細：メールサーバ名とログイン名</li> <li>◆ アカウントのパスワード ( 保存のみ )</li> <li>◆ 電子メールメッセージおよびディレクトリの構造</li> <li>◆ 既読または未読のマークが付いている電子メール</li> <li>◆ セキュリティオプション :SSL 経由の接続、安全な認証</li> <li>◆ 署名</li> <li>◆ 複合の初期設定 (HTML、リッチテキスト、またはプレーンテキスト)</li> <li>◆ [サーバー上に残す] および [サーバーのタイムアウト] などのアカウント設定</li> <li>◆ 着信メールのルール (Outlook から Outlook のみ)</li> <li>◆ メッセージの送信 / 受信の頻度 (Outlook から Outlook のみ)</li> </ul>
カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ カレンダーのエントリ</li> <li>◆ アラーム時刻およびオプション</li> <li>◆ [定期的な予定の設定] オプション</li> <li>◆ 稼働日の設定</li> </ul>
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 連絡先項目</li> <li>◆ 配布リストのエントリ</li> <li>◆ デフォルトの連絡先の表示名</li> <li>◆ デフォルトの連絡先の並べ替え順序</li> </ul>
タスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 仕事項目</li> <li>◆ [アラーム時刻] オプション</li> <li>◆ [定期的な仕事の設定] オプション</li> </ul>

注：カスタマイズされた場所から Microsoft Outlook の archive.pst ファイルをマイグレーションするには、管理者のアカウントから Microsoft Outlook の設定を保存および適用してください。

- ◆ Outlook Express 5.0 / 6.0

次の Outlook Express の設定をマイグレートできます。

設定	オプション
電子メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アカウントの詳細: メールサーバ名とログイン名</li> <li>◆ アカウントのパスワード (保存のみ)</li> <li>◆ 電子メールメッセージ</li> <li>◆ 既読または未読のマークが付いている電子メール</li> <li>◆ セキュリティオプション: SSL 経由の接続、安全な認証</li> <li>◆ 署名</li> <li>◆ 複合の初期設定 (HTML、リッチテキスト、またはプレーンテキスト)</li> <li>◆ [サーバー上に残す] および [サーバーのタイムアウト] などのアカウント設定</li> <li>◆ 電子メールのディレクトリの構造</li> </ul>
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 連絡先項目</li> <li>◆ 配布リストのエントリ</li> </ul>

- ◆ Project 2000 / 2003 / 2007
- ◆ Publisher 2002 / 2003 / 2007
- ◆ NetMeeting\* \* 3.0
- ◆ Visio\* 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- ◆ Windows Media\* Player 9.0 / 10.0
- ◆ Windows Media Player Audio 8.0
- ◆ Windows Media Player Video
- ◆ Mail\*
- ◆ Infopath\*

## D.2.5 Palm アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションの設定をマイグレートできます。

- ◆ Palm Desktop 4.0 / 4.1

## D.2.6 Qualcomm アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションの設定をマイグレートできます。

- ◆ Eudora\* 6.2

## D.2.7 モーションアプリケーションの調査

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ BlackBerry\* Desktop 4.0 / 4.1

## D.2.8 Sun アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ StarOffice Writer\*8.0

## D.2.9 アメリカオンラインアプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ AOL インスタントメッセージ \* 6.0

AOL インスタントメッセージでは、次の設定をマイグレートできます。

---

アプリケーション	設定
AOL インスタントメッセージ	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アカウント情報<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 画面名</li><li>◆ パスワードの初期設定</li><li>◆ オートログインの初期設定</li><li>◆ 接続とプロキシの設定</li></ul></li><li>2. アカウント設定<ul style="list-style-type: none"><li>◆ メンバーリストの初期設定</li><li>◆ プライバシーオプション</li><li>◆ サインインオプション</li><li>◆ 通知オプション</li><li>◆ 通知のサウンドファイル</li><li>◆ IM/ チャットの初期設定</li><li>◆ フォントおよびウィンドウの色のオプション</li><li>◆ 不在 / 退席中のメッセージおよびオプション</li><li>◆ Stock Ticker の情報</li></ul></li></ol>

---

## D.2.10 GAIM アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ GAIM 1.2 / 1.3 / 1.4 / 1.5 / 2.0

GAIM では、次の設定をマイグレートできます。

アプリケーション	設定
GAIM	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アカウント情報<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 画面名</li><li>◆ パスワードの初期設定</li><li>◆ オートログインの初期設定</li><li>◆ 接続およびプロキシの設定</li><li>◆ プロトコルおよびサーバの設定</li></ul></li><li>2. アカウント設定<ul style="list-style-type: none"><li>◆ メンバーリストの初期設定</li><li>◆ 通知オプション</li><li>◆ 通知のサウンドファイル</li><li>◆ IM/ チャットの初期設定</li><li>◆ 不在 / 退席中のメッセージおよびオプション</li><li>◆ メッセージのフォーマットのオプション</li></ul></li></ol>

## D.2.11 Mozilla Foundation アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ Firefox 0.9 / 0.10 / 1.0 / 1.5 / 2.0

Firefox では、次の設定をマイグレートできます。

- ◆ ホームページ
  - ◆ ブックマーク
  - ◆ Cookie
  - ◆ Cookie の許可
  - ◆ カスタムフォントおよび色
  - ◆ ポップアップの許可
  - ◆ プロキシおよび接続設定
  - ◆ 言語設定
  - ◆ ダウンロードマネージャのオプション
  - ◆ 詳細設定
- ◆ Mozilla 1.7 / 1.8

Mozilla では、次の設定をマイグレートできます。

- ◆ ホームページ
- ◆ ブックマーク
- ◆ Cookie
- ◆ Cookie の許可

- ◆ カスタムフォントおよび色
- ◆ ポップアップの許可
- ◆ プロキシ設定
- ◆ 言語設定
- ◆ ダウンロードマネージャのオプション
- ◆ 詳細設定

- ◆ メール 1.6 / 1.7 / 1.8

メールでは、次の設定をマイグレートできます。

設定	オプション
電子メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アカウントの詳細:メールサーバ名とログイン名</li> <li>◆ アカウントのパスワード</li> <li>◆ 電子メールメッセージおよびディレクトリの構造</li> <li>◆ 既読または未読のマークが付いている電子メール</li> <li>◆ セキュリティオプション :SSL 経由の接続、安全な認証</li> <li>◆ 署名</li> <li>◆ 複合の初期設定 (HTML またはプレーンテキスト)</li> <li>◆ [サーバー上に残す] および [サーバーのタイムアウト] などのアカウント設定</li> <li>◆ 着信メールのルール (Mozilla/Thunderbird* のみ)</li> </ul>
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 連絡先項目</li> </ul>

- ◆ Thunderbird 0.8 / 1.0 / 1.5

Thunderbird では、次の設定をマイグレートできます。

設定	オプション
電子メール	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ アカウントの詳細:メールサーバ名とログイン名</li><li>◆ アカウントのパスワード</li><li>◆ 電子メールメッセージおよびディレクトリの構造</li><li>◆ 既読または未読のマークが付いている電子メール</li><li>◆ セキュリティオプション :SSL 経由の接続、安全な認証</li><li>◆ 署名</li><li>◆ 複合の初期設定 (HTML またはプレーンテキスト)</li><li>◆ [サーバー上に残す] および [サーバーのタイムアウト] などのアカウント設定</li></ul>

## D.2.12 OpenOffice.org アプリケーション

ZENworks Personality Migration を使用すると、次のアプリケーションをマイグレートできます。

- ◆ OpenOffice.org Writer 1.1 / 2.0

OpenOffice.org Writer では、次の設定をマイグレートできます。

- ◆ カスタムディクショナリ
- ◆ スペルチェックのオプション
- ◆ オートコレクトのエントリおよびオプション
- ◆ 追跡オプションの変更
- ◆ ドキュメント表示のオプション
- ◆ デフォルトのテンプレート
- ◆ ツールバー
- ◆ ファイルパス





## 変数の理解

変数は、プログラムファイルおよびマイピクチャなどのシステムディレクトリへのパスを含む文字列です。これらの変数はパーセント (%) 記号で囲まれています。これらの変数の値は、Personality Migration が起動すると自動的に設定されます。

たとえば、%os% 変数は、デバイス上の、オペレーティングシステムがインストールされているディレクトリに展開されます。

次の表では、Personality Migration で使用される変数を示します。表には Windows XP および Windows 7 の値を示していますが、変数はサポートされるすべてのオペレーティングシステムで使用できます。サンプルでは、オペレーティングシステムは C:\ ドライブにインストールされています。

変数	説明	Windows XP の値	Windows 7 の値
applicationdata	現在のユーザのアプリケーション固有のデータを含むアプリケーションデータディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Application Data	C:\Users\username\AppData\Roaming
commonapplicationdata	すべてのユーザに共通するアプリケーションデータディレクトリ	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data	C:\ProgramData
commondesktop	すべてのユーザに共通するデスクトップディレクトリ	C:\Documents and Settings\All Users\Desktop	C:\Users\Public\Desktop
commondocuments	すべてのユーザに共通するドキュメントを含むドキュメントディレクトリ	C:\Documents and Settings\All Users\Documents	C:\Users\Public\Documents
commonprogramfiles	さまざまなアプリケーションに共通するファイルを含む共通ファイルディレクトリ	C:\Program Files\Common Files	C:\Program Files\Common Files
commonstartmenu	すべてのユーザに共通するスタートメニュー項目を含むスタートメニューディレクトリ	C:\Documents and Settings\All Users\Start Menu	C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu
computername	デバイス名	デバイス名が abc の場合、変数の値は abc です	デバイス名が abc の場合、変数の値は abc です
cookies	ブラウザ Cookie を含む Cookie ディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Cookies	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Cookies
desktop	現在のユーザの論理デスクトップ	C:\Documents and Settings\username\Desktop\	C:\Users\username\Desktop\

変数	説明	Windows XP の値	Windows 7 の値
desktopdirectory	デスクトップ上に物理的に情報を保存するデスクトップディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Desktop	C:\Users\username\Desktop
favorites	現在のユーザのお気に入り項目を含むお気に入りディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Favorites	C:\Users\username\Favorites
フォント	システムフォントを含むフォントディレクトリ	C:\WINDOWS\Fonts	C:\WINDOWS\Fonts
history	現在のユーザのブラウザ履歴を含む履歴ディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Local Settings\History	C:\Users\username\AppData\Local\Microsoft\Windows\History
internetcache	現在のユーザの一時インターネットファイルを含む一時インターネットファイルディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Local Settings\Temporary Internet Files	C:\Users\username\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files
localapplicationdata	現在のユーザが使用するローカルアプリケーション固有のデータを含むディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Local Settings\Application Data	C:\Users\username\AppData\Local
mymusic	現在のユーザのマイミュージックディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\My Documents\My Music	C:\Users\username\Music
mypictures	現在のユーザのマイピクチャディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\My Documents\My Pictures	C:\Users\username\Pictures
myvideo	現在のユーザのマイビデオディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\My Documents\My Videos	C:\Users\username\Videos
os	Windows インストールディレクトリ	C:\WINDOWS	C:\Windows
パーソナル	ユーザのドキュメントを含むディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\My Documents	C:\Users\username\Documents
profile	現在のユーザのプロファイルを含むディレクトリ	C:\Documents and Settings\username	C:\Users\username
プロファイル	すべてのユーザのプロファイルを含むディレクトリ	C:\Documents and Settings	C:\Users
プログラム	プログラムディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Start Menu\Programs	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs

変数	説明	Windows XP の値	Windows 7 の値
quicklaunch	クイック起動ディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Application Data\Microsoft\Internet Explorer\Quick	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Internet Explorer\Quick Launch
recent	ユーザが最近使用したドキュメントへのショートカットを含むディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Recent	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Recent
sendto	送り先メニュー項目を含む SendTo ディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\SendTo	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\SendTo
startmenu	スタートメニューアイテムを含むスタートメニューディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Start Menu	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Start Menu
起動	ユーザのスタートアップ項目を含むスタートアップディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Start Menu\Programs\Startup	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Startup
システム	システムディレクトリ	C:\WINDOWS\system32	C:\WINDOWS\system32
tempdirectory	一時ファイルを含む一時ディレクトリ	C:\DOCUME~1\username\LOCALS~1\Temp\	C:\Users\username\AppData\Local\Temp\
テンプレート	ドキュメントテンプレートを含むテンプレートディレクトリ	C:\Documents and Settings\username\Templates	C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Templates
ユーザ名	現在ログインしているユーザの名前	ユーザ名が abc の場合、変数の値は abc です。	ユーザ名が abc の場合、変数の値は abc です。



# クロスユーザマイグレーションのシナリオ

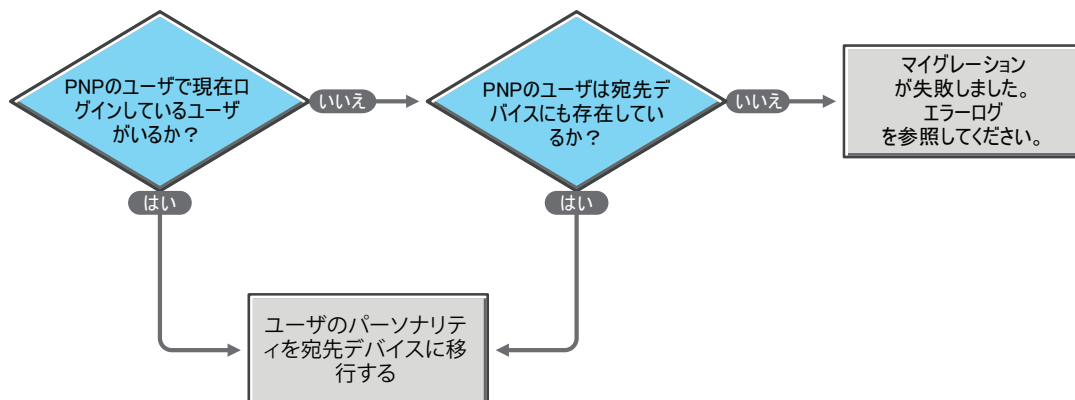
このセクションのフローチャートは、ユーザパーソナリティのマイグレーション時に発生する可能性があるシナリオを示しています。

- 69 ページのセクション F.1 「PNP ファイルがすべてのユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ」
- 70 ページのセクション F.2 「PNP ファイルが現在ログインしているユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ」
- 73 ページのセクション F.3 「PNP ファイルが特定ユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ」
- 74 ページのセクション F.4 「PNP ファイルが複数の特定ユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ」

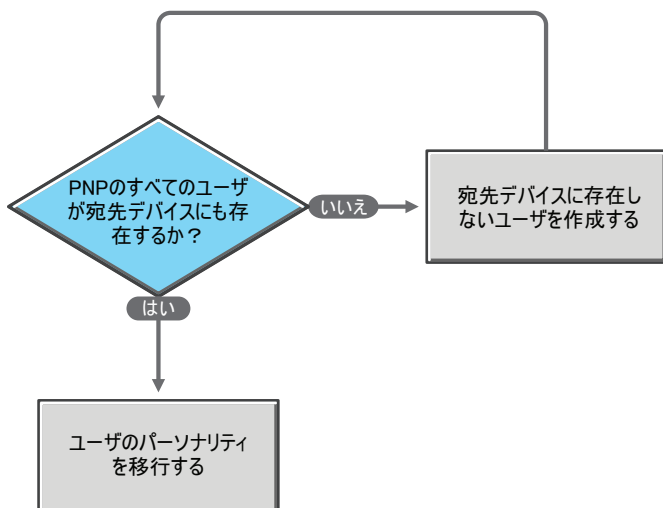
## F.1 PNP ファイルがすべてのユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ

- シナリオ 1: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する
- シナリオ 2: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する
- シナリオ 3: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、ユーザを指定する

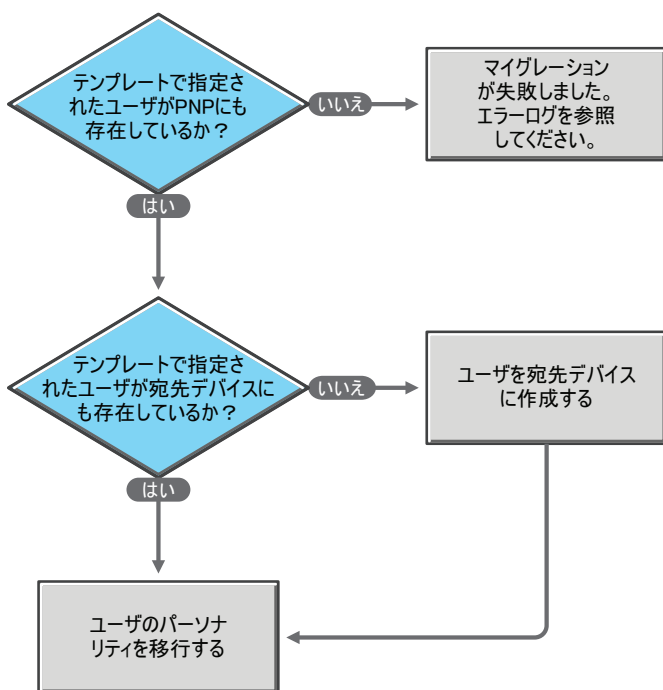
シナリオ 1: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する



シナリオ 2: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する



シナリオ 3: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、ユーザを指定する



## F.2 PNP ファイルが現在ログインしているユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ

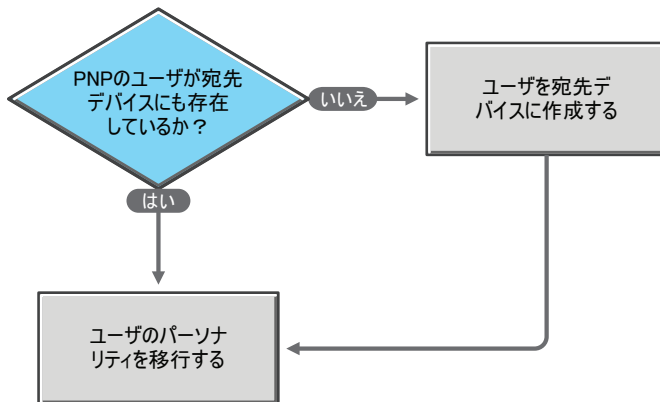
- ◆ シナリオ 4: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する

- ◆ シナリオ 5: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する
- ◆ シナリオ 6: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、ユーザを指定する
- ◆ シナリオ 6a: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、複数のユーザを指定する

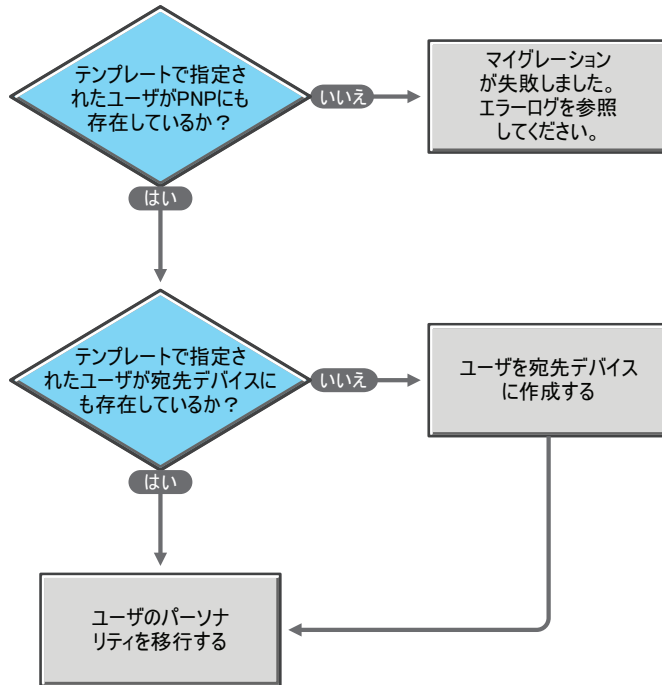
**シナリオ 4: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する**

ユーザ名でユーザをマッピングせずに、ユーザのパーソナリティをマイグレートします。

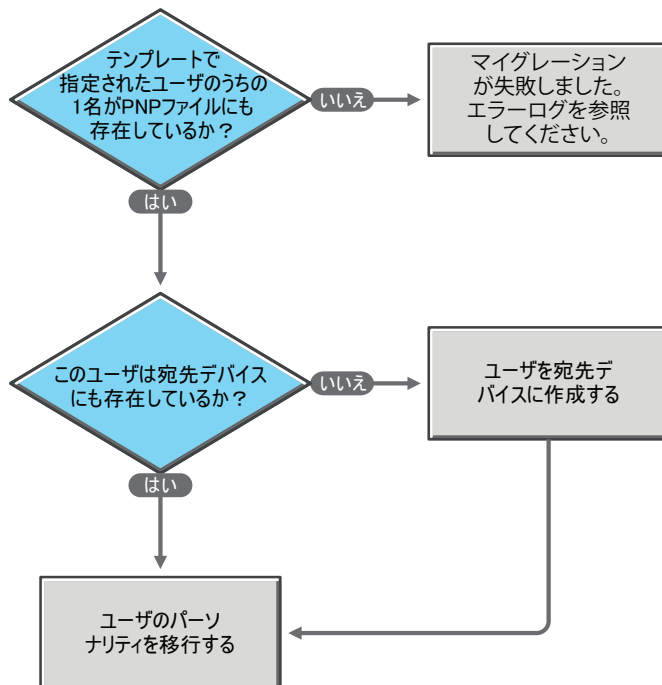
**シナリオ 5: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する**



シナリオ 6: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、ユーザを指定する



シナリオ 6a: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、複数のユーザを指定する

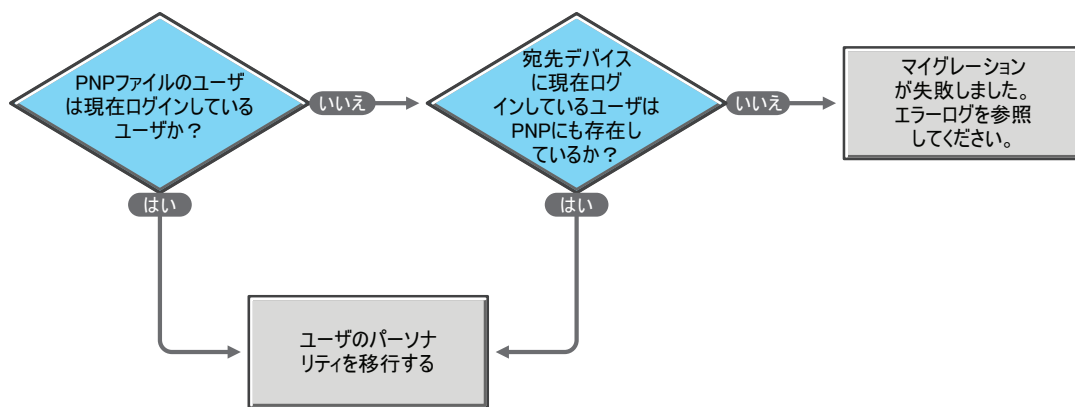




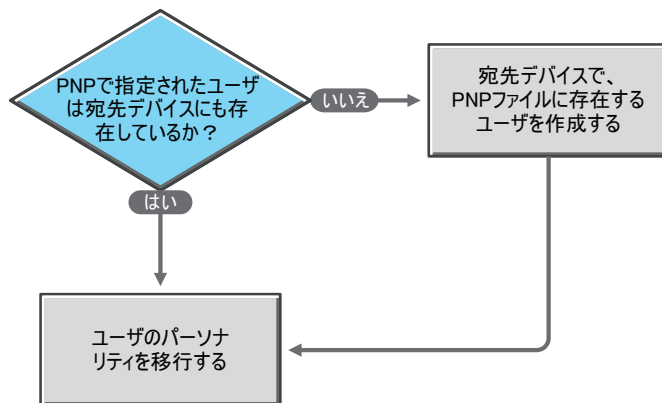
## F.3 PNP ファイルが特定ユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ

- ◆ シナリオ 7: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する
- ◆ シナリオ 8: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する
- ◆ シナリオ 9: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、ユーザを指定する

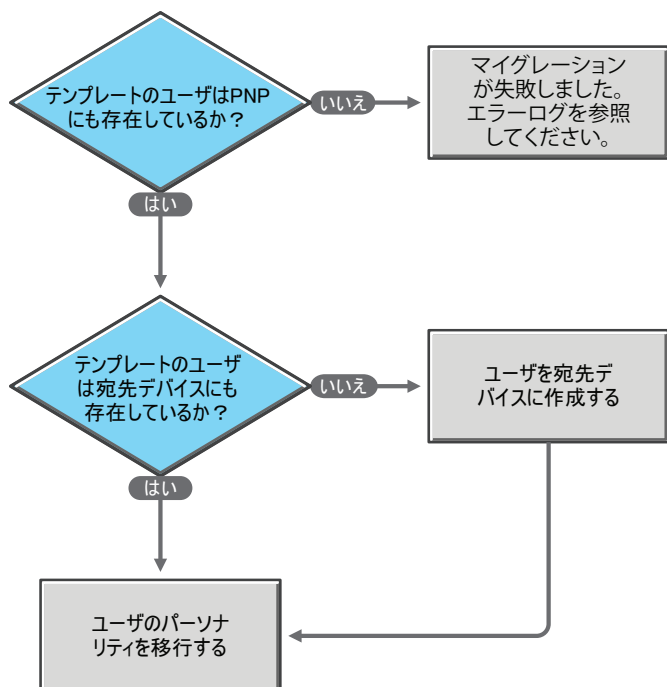
シナリオ 7: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する



シナリオ 8: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する



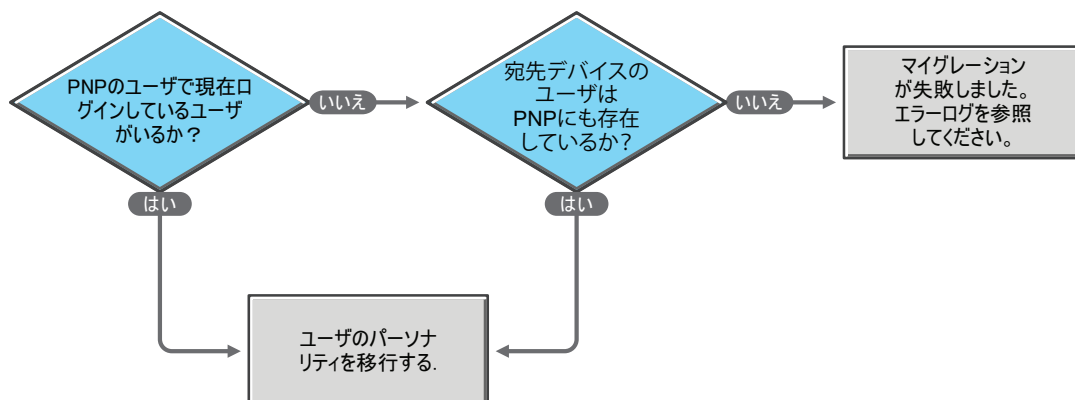
### シナリオ 9: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、ユーザを指定する



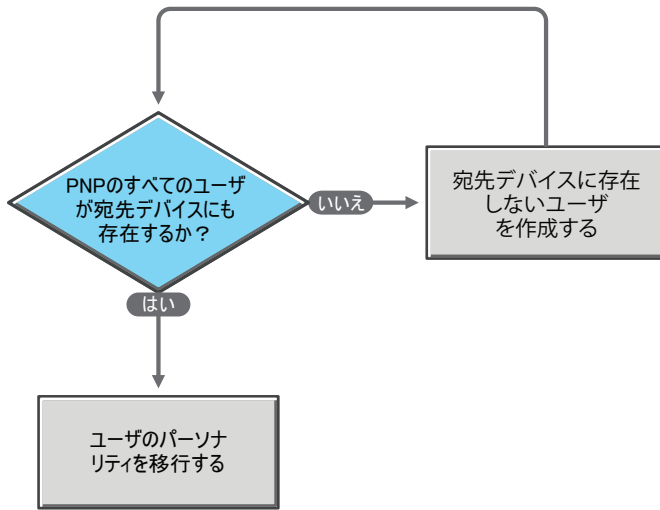
## F.4 PNP ファイルが複数の特定ユーザのパーソナリティを含む場合のマイグレーションシナリオ

- シナリオ 10: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する
- シナリオ 11: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する
- シナリオ 12: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、複数のユーザを指定する

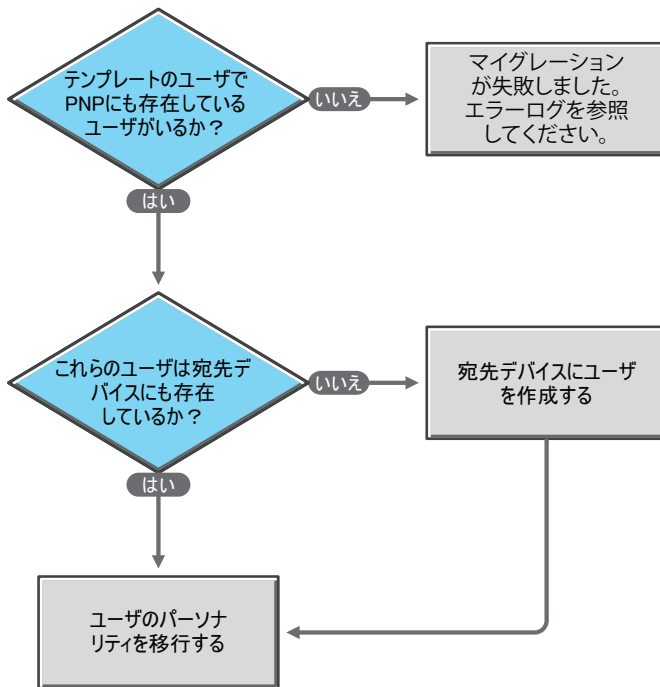
### シナリオ 10: テンプレートオプション [現在ログインしているユーザの設定をマイグレーションする] を選択する



シナリオ 11: テンプレートオプション [All users to migrate (マイグレーションするすべてのユーザ)] を選択する



シナリオ 12: テンプレートオプション [マイグレーションするユーザの追加] を選択し、複数のユーザを指定する





# マニュアルの更新

このセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 用の『Personality Migration リファレンス』へのマニュアルコンテンツ変更について説明します。変更が行われた日付に基づいて、変更が一覧表示されています。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

このドキュメントは次の日付に更新されました。

- ◆ [77 ページのセクション G.1 「2010 年 3 月 30 日 : SP3 \(10.3\)」](#)

## G.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)

場所	変更
<a href="#">13 ページのセクション 2.1 「システム要件」</a>	Windows 7 サポートに関する情報を記載して、このセクションを更新しました。
<a href="#">14 ページのセクション 2.3 「ZENworks バンドルを使用した ZENworks Personality Migration のインストール」</a>	このセクション全体を更新しました。
<a href="#">19 ページのセクション 4.1 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの保存」</a>	このリリース用に、このセクションの内容を整理しました。
<a href="#">24 ページのセクション 4.1.1 「直接モードを使用したデータの転送」</a>	このリリース用にこのセクションが追加されました。
<a href="#">25 ページのセクション 4.1.2 「ファイルモードを使用したデータの転送」</a>	このリリース用にこのセクションが追加されました。
<a href="#">26 ページのセクション 4.2 「ユーザのパーソナリティ設定とデータの適用」</a>	注意として次の情報が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ パスワードの複雑性ポリシーが目的のデバイスで有効になっている場合、目的のデバイスのパスワードの複雑性ポリシーに一致するパスワードを指定してください。</li> </ul>
<a href="#">32 ページのセクション 5.1.2 「テンプレートビルダを使用したテンプレートの作成」</a>	パスワード複雑性ポリシーの情報を記載して、このセクションを更新しました。
<a href="#">46 ページのセクション 5.4 「コマンドプロンプトを使用してパーソナリティ設定をマイグレートする」</a>	このセクション全体を更新しました。

---

場所	変更
56 ページのセクション D.2 「アプリケーション設定」	サポートするバージョンを記載して、次のアプリケーションを更新しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>◆ Sun アプリケーション</li><li>◆ アメリカオンラインアプリケーション</li><li>◆ GAIM アプリケーション</li><li>◆ Mozilla Foundation アプリケーション</li><li>◆ OpenOffice.org アプリケーション</li></ul>
57 ページのセクション D.2.4 「Microsoft アプリケーション」	Internet Explorer 8.0 のサポートを追加しました。
65 ページの付録 E 「変数の理解」	このリリース用にこのセクションが追加されました。

---